国立大学法人 奈良教育大学 2016年 大学概要

Nara University of Education 2016 CAMPUS GUIDE

目次 CONTENTS
学長挨拶/歴代学長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
大学の目的・大学の基本的な目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6 The Aims of the University / Core Objective
大学の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7 University Characteristics
教育研究組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
取得可能な教員免許状・資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Available Teaching Certificates and Qualifications
法人運営組織/役職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
経営協議会委員/教育研究評議会評議員/事務局・・・・・・・・・・・ 1] Management Council / Council Education and Research / Bureau Offices
職員現員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
学生数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平成 27 年度までの卒業・修了者数(累計) ・・・・・・・・・・・・・ 14 Total number of alumni and alumnae
平成 28 年 3 月卒業・修了者の進路状況・・・・・・・・・・・・・・・ 15 Job Placement Statistics 2016
平成 27 年度卒業・修了者の教員免許取得状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 16 Undergraduates and graduates with teaching certificates in the 2015 academic year
平成 28 年度入学状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18 The Number of Newly-Enrolled Students 2016
奨学制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ユネスコスクール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21 The UNESCO Associated Schools Project Network (ASPnet)
地域交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平成 28 年度学生企画活動支援事業/教育研究に係る連携協定 ・・・・・・ 23 Student Activities Support Project 2016 / Education Agreement
単位互換に係る連携協定/双方向遠隔授業/地域連携/広報誌・刊行物紹介・・・24 Credit Exchange / Interactive Distance Education / Local Collaboration / Pamphlets and Publications
授学寄附金受入状況/科学研究費補助金採択状況/機能強化経費採択状況・・・ 25 Scholarship Donations Received / Acceptance of Application For Grant-in-Aid for Scientific Research / Acceptance of Functional Enhancement Fund
平成 28 年度 収入・支出予定額/土地・建物/施設の整備状況 ・・・・・・ 26 Revenue and Expenditure in Fiscal Year 2016 / Land and Buildings / Upkeep of Facilities
教育研究支援機構/図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27 Educational and Academic Support Organization / University Library
次世代教員養成センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28 Teacher Education Center for the Future Generation
国際交流留学センター/自然環境教育センター ・・・・・・・・・・・・・・ 29 Center for Intercultural Exchange and Studies / Center for Natural Environment Education
特別支援教育研究センター/理数教育研究センター・・・・・・・・・・・30 Center for Special Needs Education / Center for Educational Research of Science and Mathematics
保健センター/福利厚生施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31 Health Care Center / Student Welfare and Guidance Facilities
附属学校部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
建物配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
部局等所在地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
学年暦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
奈良教育大学所在地略図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

奈良教育大学イメージキャラクター The mascot of N.U.E.

なっきょん (平成 20 年制定)

【制作者】

デザイン 萩田菜穂子さん (平成19年度教育学部卒業生)

【愛称】

石川康恵さん(大学院) 松原正之さん(教育学部) 近藤花梨さん(教育学部) ※ 所属は制定時

◆ コンセプト

創立120周年を記念して誕生したイ メージキャラクター「なっきょん」。 奈良のシンボルであるシカをモチーフ に、教育大学の「育つ・育てる」とい うイメージを角の新芽(ふたば)に表 現しています。



学章

The school badge of N.U.E. 本学学章は、「大学」の文字を中央に、 その左右は天平雲をモチーフにしたデ ザインとなっています。昭和 25 年制 定。



シンボルマーク

The emblem of N.U.E. 天平雲 (てんぴょうぐも)

制作者 田中 一光 氏 (1930~2002) 奈良市出身 グラフィックデザイナー

◆ コンセプト

寧楽書院からの伝統を受け継ぎ、教育 者を育成する国立大学として、古都奈 良に位置するという伝統をふまえて、 現在使われている雲のマークをモチー フに、これを現代的に昇華するように デザインしました。この雲は世界を結 び、人と人を結ぶかけ橋となる人材を そだてる奈良教育大学にふさわしい、 シンボルマークとなるよう、軽快でし かも品位あるかたちを追求しました。 (文:田中一光氏・平成 11 年)

University Location Map

学長挨拶 President message

本学は、明治21 (1888)年に奈良県尋常師範学校として創設されて以来、120有 余年の歴史を有する地域の教育とともに歩む教員養成大学です。昭和18年の奈良 県女子師範学校の合併、昭和19年の奈良県青年師範学校の合併などを経て、昭和24 (1949)年5月に新学制発布のもと奈良学芸大学が設置され、昭和41 (1966)年に奈 良教育大学と改称し、現在に至っています。この間、一貫して教員養成大学として の教育と研究の充実・発展を図りながら、数多くの優秀な教員を世に送り出してま いりました。

教育学部(学校教育教員養成課程 学生定員1学年255名)、また、大学院教育学 研究科修士課程(11専修 学生定員1学年45名)と大学院教育学研究科専門職学位 課程(教職大学院 学生定員1学年25名)をそれぞれ有し、創立以来の学問・学芸を 尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究することにより、豊かな人 間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向 上に寄与することを社会的使命としております。

特に、第3期中期目標期間においては、ミッションの再定義を踏まえ、地域の義 務教育諸学校の教員養成機能に関して中心的役割を果たし、さらに、「学ぶ喜びを知 り、自ら学び続ける」教員の養成を志向するユネスコスクールとしての実績を発展 させ、持続可能な開発のための教育の推進拠点としてその理念に立った研究と実践 を進めることにより地域の教育の発展・向上に寄与することを基本的目標とし、特 に以下の点に重点的に取り組んでまいります。

・持続可能な社会の創造に寄与しうる教育を推進するため、実践的指導力、自ら課題 を発見し協働的に探究できる能力及びグローバルな視野を備え新たな学びに対応 できる能力を身に付け、その向上を目指して常に学び続ける教員を養成する。

・研究の成果に基づいた教育及び実践的活動を推進するため、教育の基盤となる知の創出と教育的課題への対応を主軸とした研究ならびに奈良の地に根差した個性ある学際的教育研究をいっそう深化・発展させる。

・教員研修ならびに地域の教育課題に対応するため、教育委員会や義務教育諸学校 等との協働の取組を拡充し、地域の教育に対する支援を強化する。

本概要は、本学の現状や取組を図表や数値データ等でわかりやすく提示するもの として、毎年発行しております。本学ホームページとともに本学をご理解いただく ための資料としてご活用いただければ幸いです。 http://www.nara-edu.ac.jp/

> 平成28年(2016)年6月30日 国立大学法人 奈良教育大学学長 加藤 久雄



■ 歴代学長 Successive Presidents

奈良教育大学学長

加藤

President

Kato Hisao

久雄

氏名	在任期間
落合 太郎	昭和 24.5.31 ~昭和 29.3.31
Ochiai Taro	May. 31, 1949 - Mar. 31, 1954
能勢 朝次	昭和 29.4.1 ~昭和 30.2.24
Nose Asaji	Apr. 1, 1954 - Feb. 24, 1955
宮本 陸治(事務取扱)	昭和 30.2.25 ~昭和 30.9.30
Miyamoto Mutsuji	Feb. 25, 1955 - Sep. 30, 1955
稻荷山 資生	昭和 30.10.1 ~昭和 46.9.30
Inariyama Sukeo	Oct. 1, 1955 - Sep. 30, 1971
井上 智勇	昭和 46.10.1 ~昭和 52.9.30
Inoue Chiyu	Oct. 1, 1971 - Sep. 30, 1977
小林 章	昭和 52.10.1 ~昭和 58.9.30
Kobayashi Akira	Oct. 1, 1977 - Sep. 30, 1983
藤永 太一郎	昭和 58.10.1 ~平成元年 9.30
Fujinaga Taichiro	Oct. 1, 1983 - Sep. 30, 1989
後藤 稠	平成元 .10.1 ~平成 5.9.30
Goto Shigeru	Oct. 1, 1989 - Sep. 30, 1993
赤井 逹郎	平成 5.10.1 ~平成 11.9.30
Akai Tatsuro	Oct. 1, 1993 - Sep. 30, 1999
大久保 哲夫	平成 11.10.1 ~平成 15.9.30
Okubo Tetsuo	Oct. 1, 1999 - Sep. 30, 2003
柳澤 保德	平成 15.10.1 ~平成 21.9.30
Yanagisawa Yasunori	Oct. 1, 2003 - Sep. 30, 2009
長友 恒人	平成 21.10.1 ~平成 27.9.30
Nagatomo Tsuneto	Oct. 1, 2009 - Sep. 30, 2015
加藤 久雄	平成 27.10.1 ~現在
Kato Hisao	Oct. 1, 2015 -





MOBILE SITE 携帯電話から最新情報にアクセス



明治7年 6月 4日	教員伝習所として興福寺内に「寧楽書院」を創設
明治8年 3月 1日	伝習所を奈良(小学)師範学校と改称
明治21年 7月31日	奈良県尋常師範学校を創設し、校舎は奈良町大字登大路 23 番地の公園地借用(同年 11 月 18 日開校式)
明治31年 4月 1日	師範教育令により、奈良県尋常師範学校を奈良県師範学校と改称
明治38年 4月 1日	奈良県女子師範学校を創設(奈良県師範学校女子部を廃止)
昭和18年 4月 1日	師範教育令の改正により、奈良県師範学校及び奈良県女子師範学校が官立に移管、合併 し、奈良師範学校と改称
昭和19年 4月 1日	奈良県青年師範学校教員養成所及び青年学校教員養成所臨時養成科が官立に移管、合併 し、奈良青年師範学校と改称
昭和24年 5月31日	国立学校設置法の公布により、奈良師範学校及び奈良青年師範学校を包括し、奈良学芸 大学を設置
昭和33年10月10日	大学が米軍キャンプ奈良C地区(現在地・高畑町)に移転
昭和41年 4月 1日	国立学校設置法の一部を改正する法律(昭和 41 年法律第 48 号)により、奈良教育大学 と改称
昭和58年 4月 1日	大学院教育学研究科修士課程を設置
昭和63年11月18日	創立 100 周年記念式典を挙行
平成4年 4月 1日	特殊教育特別専攻科情緒障害教育専攻を設置
平成7年 4月 1日	総合文化科学課程を設置
平成11年 4月 1日	学校教育教員養成課程を設置
	総合教育課程を設置(総合文化科学課程を廃止)
平成16年 4月 1日	国立大学法人法の公布により、国立大学法人奈良教育大学を設置
	大学院教育学研究科修士課程を改組
平成19年 4月 1日	特殊教育特別専攻科情緒障害教育専攻を特別支援教育特別専攻科情緒障害・発達障害教 育専攻と改称
平成20年 4月 1日	大学院教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)を設置 大学院教育学研究科修士課程を改組
平成20年11月22日	創立 120 周年記念式典を挙行
平成23年 3月24日	教育研究支援機構を設置、大学附置センターを再編
平成24年 4月 1日	教育学部を改組(入学定員 255 名すべてを学校教育教員養成課程で募集、総合教育課程 の募集停止)
平成24年10月 1日	京阪奈三教育大学連携推進室を設置
平成26年 4月 1日	大学附置センターを再編
平成28年 4月 1日	大学院教育学研究科を改組(特別支援教育特別専攻科を廃止)



奈良師範学校(明治25年)



師範学校附属小学校正門(明治43年頃)



師範学校職員及び教生(明治末期)

Jun. 4,	1874	Neiraku Shoin private school was established in the precincts of Kofukuji Temple. The private school was to meet the needs of training
		teachers and was also called Kyouin Densyuu-jo.
Mar. 1,	1875	The Kyouin Densyuu-jo was renamed Nara Normal School for Primary Education.
Jul. 31,	1888	Nara Prefectural Normal School for Primary Education was established. The campus for the school was a leased area of a park. The
		address of the park was 23 Nobori-Ohji, Oh-aza, Nara-machi. (The inauguration ceremony for the school was held on 18th November
		in the same year when it was established.)
Apr. 1,	1898	Nara Prefectural Normal School for Primary Education was renamed Nara Prefectural Normal School in accordance with Educational
		Acts for Normal Schools.
Apr. 1,	1905	Nara Prefectural Women's Normal School was established. (Accordingly, Women's Department of Nara Prefectural Normal School was
		abolished.)
Apr. 1,	1943	Nara Prefectural Normal School and Nara Prefectural Women's Normal School were nationalized and merged. Both of them, hereby,
		were renamed Nara Normal School. All these changes were made in accordance with the amendments for Educational Acts for Normal
		Schools.
Apr. 1,	1944	Teachers' Training Center of Nara Prefectural Young Men's School and Temporary Teachers' Training Department attached to the
		school were nationalized and merged. Hereby, they were renamed Young Men's Normal School of Nara Prefecture.
May 31,	1949	Nara Normal School and Young Men's Normal School of Nara prefecture were merged. Nara University of Liberal Arts, hereby, was
		established in accordance with Acts for Establishing National Schools.
Oct. 10,	1958	University Campus was transferred to Nara "C" Area allotted to American Occupation Forces. University Campus is still situated in the
		area (Takabatake-cho).
Apr. 1,	1966	Nara University of Liberal Arts was renamed Nara University of Education in accordance with the amendments for Acts for Establishing
		National Schools (Amendment No.48 in 1967) Training Course for Teachers for Handicapped Children was established.
Apr. 1,	1983	Graduate School of Education Master's Course was established.
Nov. 18, 1	1988	The Ceremony for Centennial Anniversary of Establishment of the University was held.
Apr. 1,	1992	Special Course for Teachers for Special Education (Postgraduate Course) Major of Education for Emotionally-Disturbed Children was
		established.
Apr. 1,	1995	Integrated Cultural Studies and Sciences Course was established.
Apr. 1,	1999	Department of Teacher Training and School Education was established. Department of Comprehensive Education was established.
Apr. 1,	2004	The National University Corporation Nara University of Education was established under the legislation of National University
		Corporation Law.
		Reorganization of the Graduate School of Education Master's Course.
Apr. 1,	2007	Special Course for Teachers for Special Education (Postgraduate Course) Major of Education for Emotionally-Disturbanced Children
		was renamed Special Course for Teachers for Special Support Education Major of Education for Emotionally-Disturbanced Children
		and Developmental Disable Children.
Apr. 1,	2008	School of Professional Development in Education was established.
		Reorganization of the Graduate School of Education Master's Course.
Nov. 22, 2	2008	The Ceremony for 120th Anniversary of Establishment of the University was held.
Mar. 24,	2011	Reorganized the University Affiliated Centers into the Educational and Academic Support Organization.
Apr. 1,	2012	Reorganization of the Faculty of Education. (Recruited entire admission capacity of 255 students to the Department of Teacher Training
		and School Education, and stopped recruiting for the Department of Comprehensive Education.)
Oct. 1,	2012	Office for Promoting Collaboration of Three Universities of Education in Kyoto, Osaka and Nara was established.
Apr. 1,	2014	Reorganized the University Affiliated Centers.
Apr. 1,	2016	Reorganization of the Graduate School of Education. (Accordingly, the Special Course for Teachers for Special Support Education
		Major was abolished.)

奈良の地で一学び創造、



大学の目的

The Aims of the University

<mark>奈良</mark>教育大学は、学芸の理論とその応用とを教授研究し、高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有 能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としています。

Our aim at the Nara University of Education is to teach and research both the theoretical and practical aspects of education and culture and to nurture education professionals who are both knowledgeable and experienced. We also enhance the local culture of our region.



大学の基本的な目標

Core Objective

奈良教育大学は、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究すること により、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄 与することを社会的使命とします。

第3期中期目標期間においては、ミッションの再定義を踏まえ、地域の義務教育諸学校の教員養成機能に関し て中心的役割を果たします。さらに、「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成を志向するユネスコスクー ルとしての実績を発展させ、持続可能な開発のための教育の推進拠点としてその理念に立った研究と実践を進 めることにより地域の教育の発展・向上に寄与します。

Our core objective is to carry on school tradition which respects academics and arts for education and culture we have inherited from our predecessors to teach and research educational theory and its application as a means both for nurturing deeply well-rounded and cultured human resources who are capable teaching professionals, and for contributing to the development and advancement of education in Japan.

During the period encompassing our third medium-term objective, based on the redefinition of our mission, we will fulfill our central role as a nurturer of teaching professionals at compulsory education schools in our communities. Furthermore, we will develop practical experience as a UNESCO Associated School, aiming to nurture teaching professionals who not only understand the joy of learning, but also continue to learn themselves. We will make strides in research and practice based on this philosophy as an educational base for sustainable development, all in effort to contribute to the growth and improvement of community education.

学び発信。 Making Nara a Center for Learning



大学の特色(奈良教育大学の3つの柱)

University Characteristics (The Three Pillars of Nara University of Education)

「少人数教育」による教育・研究の充実 Small Classes

本学は、対話形式を重視した学生参加型の授業、研究室ゼミにおける懇切丁寧な卒業論文指導を行っています。小規模 大学の特性を生かした「少人数教育」に基づく充実した指導によって、確かな学力の基盤のうえに、コミュニケーショ ン能力やプレゼンテーション能力といった学びを創造し、その成果を発信する力を着実に身につけることができます。 本学の卒業生に対するアンケート結果では、本学で学び、本学を卒業したことへの満足度が8割を超え、その理由とし て学生と教員との距離が近いことが特に多く挙げられています。「少人数教育」は、まさに本学の特色と言えます。

We place great importance on student participation in lessons and give our students the support they need to complete their graduation thesis. Only a relatively small university can provide this level of training. We focus on academic achievement, but also strive to ensure that our students receive a well-rounded education, which includes developing communication and presentation skills so that they will able to express what they have learned. Surveys of our graduates show consistently high satisfaction rates of over 80%. The most common reason for this is the close collaboration between students and staff. Instruction in small classes is one of the major pillars of our university.

2. 「奈良・世界遺産」を生かした教育・研究の充実 Education and Research Steeped in the Traditions of Nara

本学は、古都・奈良の中心に位置し、豊かな自然と世界遺産を含む多くの伝統文化遺産に囲まれています。世界中から 観光客が訪れるこの地でキャンパス・ライフを送ることは、国際交流、<mark>異文化理解、日本文化</mark>理解にとって、得がたい 経験となります。本学は、その利点を生かして、講義や行事、教育活動において、奈良特有の自然環境や文化遺産に触れ、 その理解を深めるさまざまな機会を設けています。近隣の国立博物館との交流も積極的に行っています。このような体 験や学習を通じて、日本の伝統文化への理解やそれを外へと発信する国際感覚を養うことができます。

Our campus is located in the center of Japan's ancient capital of Nara, a city that attracts visitors from around the world. It is surrounded by rich greenery and many important facets of traditional culture, including World Heritage sites. Campus life provides a great opportunity for international exchange that leads to genuine intercultural understanding and a good understanding of Japan. Nara's unique culture and environment feature widely in our lessons, events, and educational activities. Students can learn even more about the history of the region through the university's close contact with the adjacent National Museum. Such experiences enable our students to appreciate Japan's traditional culture more deeply, an appreciation that they bring to the international arena.

「体験型キャリア教育」による教育・研究の充実

5. "Experience-based" Lifetime Education and Research

本学は、全国の先導的取組として"理数科離れ"に対応した「理数科教員養成プログラム」をはじめとして、県内各地・ 学校との連携による実践的で専門性に優れたキャリア教育を充実させています。

また、教育委員会との連携により、学校教育支援活動として学生ボランティアによるスクールサポーターを学校・園へ 派遣するなど教員養成大学の特性を活かした地域への貢献活動を行うとともに、スクールサポーターとしての力量を高 めるための研修も行っています。入学から卒業まで一貫した体験学習を含むこのような取組を通して、社会から要請さ れる実践的指導力を育成することができます。

Nara University of Education runs a science and mathematics teacher training program - a pioneering effort to combat the nationwide decline in science and math. We also partner with schools and localities throughout Nara prefecture to provide lifetime education that offers pragmatic, specialized knowledge.

The university works with local Boards of Education to send student volunteers to schools and kindergartens as a form of academic training support. We thus contribute to the local community by drawing upon our resources as a teacher's college. In addition, we provide training to build competency in volunteers who work in this capacity. Through such efforts, which include numerous opportunities for experiential learning from enrollment through to graduation, we are able to nurture the kind of skills and practical leadership required in society.



■教育研究組織機構図 Academic Organization Chart

学校教育講座 (教員組織) Staff Organization School Education 教育学部^{*} 学校教育教員養成課程 国語教育講座 Department of Teacher Training and School Educattion Faculty of Japanese Language Education Education 社会科教育講座 教育発達専攻 — - 教育学専修 Pedagogy ocial Studies Education Educational - 心理学専修 Psychology Progress 数学教育講座 幼年教育専修 Early Childhood Education Mathematics Education 特別支援教育専修 Special Support Education 理科教育講座 国語教育専修 Japanese 教科教育専攻 Science Education Curriculum and Instruction 社会科教育専修 Social Studies 音楽教育講座 数学教育専修 Mathematics Music Educatior 理科教育専修 Science 美術教育講座 音楽教育専修 Music Fine Arts Education 美術教育専修 Fine Arts 保健体育講座 保健体育専修 Health and Sports Science Health and Sports Science Education 家庭科教育専修 Home Economics 技術教育講座 Technology Education 技術教育専修 Technology 家庭科教育講座 英語教育専修 English Home Economics Education 奈良教育大学 伝統文化教育専攻 — 書道教育 导修 Calligraphy Traditional Culture — 文化遺産教育専修 Cultural Heritage 書道教育専修 Calligraphy Nara University of 英語教育講座 Education English Language Education 大学院教育学研究科 修士課程 Master's Program(in Education) 教職開発講座 Graduate School of Education 人間発達専攻 Human Development Pedagogical Development 教科教育専攻 Curriculum and Instruction 專門職学位課程(教職大学院) Professional Degree Program(in Education) - 教職開発専攻 Professional Development in Education 教育研究支援機構 図書館 University Library Educational and Academic Support 次世代教員養成センター Organization Teacher Education Center for the Future Generation 国際交流留学センター Center for Intercultural Exchange and Studies 特別支援教育研究センター Center for Special Needs Education 理数教育研究センター Center for Educational Research of Science and Mathematics 保健センター Health Care Center 自然環境教育センター Center for Natural Environment Education 附属学校部 附属中学校 University Attached Junior High School Attached School 附属小学校 University Attached Elementary School 附属幼稚園 University Attached Kindergarten ★ 平成23年度以前入学生の教育学部組織図 学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training and School Education 総合教育課程 Department of Comprehensive Education 教育・発達基礎コース Education and Development 文化財・書道芸術コース Cultural Property and Calligraphy 言語・社会コース Language and Social Studies 環境教育コース Environmental Education 理数・生活科学コース Math and Science ·科学情報コース Science and Information 身体・表現コース Physical and Artistic Education ★★ 平成27年度以前入学生の大学院教育学研究科組織図 専門職学位課程(教職大学院) Professional Degree Program (in Education) 修士課程 Master's Program(in Education) - 学校教育専攻 School Education └──教職開発専攻 Professional Development in Education 教科教育専攻 Curriculum and Instruction



学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training and School Education

学校教育教員養成課程は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特 別支援学校といった学校種についての学びとともに、それらの枠を こえ、幼児・児童・生徒の発達を基軸にすえた実践力豊かな教員を 養成する課程です。

主として「義務教育を幅広く見渡すことのできる力量」「異校種に柔 軟に対応できる教育的力量」「授業·教育指導のための実践的力量」「特 別な支援を必要とする子どもに対する臨床的力量」「現代的課題への 積極的な対応力」の形成をめざしています。 The Department of Teacher Training and School Education integrates training for all types of schools, including kindergartens, primary schools, junior high schools, high schools and special needs education schools. Its inter-disciplinary child-centered approach enables us to nurture highly trained teachers with a great deal of practical experience.

The main pillars of the courses are an overview of all types of compulsory education, extensive educational abilities which give the teacher a flexible approach towards all types of schools, practical lesson techniques, the practical ability to deal with problem children, and techniques for dealing positively with the problems of modern education.

<アドミッション・ポリシー> Admission Policy

奈良教育大学は、高い知性と豊かな教養を備えた人材、とりわけ人間 形成に関する専門的力量を備えた有能な教員及び教育者を育てるとと もに、この地域に特色のある文化の向上を図ることを目的としていま このため、次のような学生を求めます。 す。さ

- 1. 教育に対する関心と教職への意欲がある人
- 2. 子ども(人間)への関心を持ち、共感できる人
- 3. 豊かな基礎学力と幅広い問題への関心を持ち、自分の探求したい 得意分野がある人

入学者選抜の基本方針

奈良教育大学は、教育学部の入学者受入方針(アドミッション・ポリ シー)に基づき、一般入試(前期日程・後期日程)、推薦入試(一般枠・ 地域枠)、帰国生徒特別入試ならびに私費外国人留学生特別入試によ り入学者を選抜します。

-般入試では、大学入試センター試験および個別学力検査等の成績と、 調査書等の内容を総合して評価します。

推薦入試では、出身学校長からの推薦に基づき、大学入試センター試 験の成績、推薦書、調査書、自己申告書等ならびに面接の結果を総合 して評価します。

■大学院教育学研究科 Graduate School of Education

本研究科は、学校教育に関する学問の体系及びその応用としての教育実践、 教育臨床の高度化と多様化に応えるため、教育研究の学問的基礎力と現代 的な教育課題への対応力を備え、専門的な能力と優れた資質を有する高度 専門職業人としての教員・教育者 を養成します。 また、現職教員に対す る教育や研修の一層の充実をめざしています。

<アドミッション・ポリシー> Admission Policy

修士課程 Master's Program

修士課程においては、学士課程や教育現場で培った学力・能力に加え、次 の目的を持つ人を求めます。

■教育学部・他学部出身者、現職教員、及び外国人留学生

学校教育・人間発達または教科教育に関する諸科学に関心を持ち、理論や 専門的知識、実践的教育方法について学習・研究を行いたいという目的を 持つ人

入学者選抜の基本方針

教育学研究科は、本学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に 基づき、筆記試験、口述試験、実技試験等の評価を総合して入学者を選抜 します。

専門職学位課程 Professional Degree Program

専門職学位課程においては、学士課程や教育現場で培った学力・能力に加 え、次の目的を持つ人を求めます。

■学部・大学院出身者

授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、特別支援教育に関心があり、 より実践的な専門性を培い、教職に関する高度な実践力を身につけたいと いう目的を持つ人

■現職教員

学級・学校経営や教育行政、授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、 特別支援教育における様々な課題を解決するために、より高度な実践力を身 に付け、学校や地域において指導的役割を果たしたいという目的を持つ人 入学者選抜の基本方針

教育学研究科は、本学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に 基づき、筆記試験、口述試験、実技試験等の評価を総合して入学者を選抜 します。



学校教育教員養成課程

- ▶ 幼稚園教諭一種 ▶ 小学校教諭一種
- ▶ 中学校教諭一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語) ▶ 高等学校教諭一種(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、
- 工業、家庭、英語、情報 **1、書道 **1)
- ▶ 特別支援学校一種(「知的障害者に関する教育の領域」「肢体不自由者に関する教 育の領域」「病弱者に関する教育の領域」)

▶養護教諭一種

大学院【修士課程、専門職学位課程】

取得しようとする専修免許状にかかる一種免許状を有する場合、必要 な単位を取得すれば所属専攻・専修に応じた専修免許状の取得が可能 です。

The aim of Nara University of Education is to develop human resources with a high degree of intelligence and refinement - in particular capable teachers and educators with specialized abilities in helping to shape people. We also strive to improve the distinctive culture of our local region. To do this, we look for the following student characteristics: 1. Interest in education and a desire to work in teaching.

2. Interest in children/people and the ability to empathize

3. Basic academic skills and interest in a wide range of issues, and the desire to pursue a particular field of specialization.

Basic Principles for Admission Selection

Based on the Faculty of Education's Admission Policy, Nara University of Education will grant admission to students based on general entrance examinations (first- and second-round sittings), recommendations (general and regional), special entrance examinations for returnee students, and special entrance examinations for privately-funded foreign students. For admission by general entrance examinations, grades from the National Center Test for University Admissions and

subject proficiency examinations, etc., as well as content of assessment reports, will be evaluated comprehensively. For admission by recommendation, evaluation will be carried out based on recommendation by the school principal

and will include comprehensive evaluation of National Center Test for University Admissions grades, letters of recommendation, assessment reports, personal application forms, etc. For admission for returnee students, comprehensive evaluation of a personal statement, transcripts, short essay, and

interview results will be conducted.

For admission for privately-funded foreign students, comprehensive evaluation of grades from entrance examinations and interview results, etc. will be conducted.

The aim of the Graduate School of Education is to nurture high-level education staff with specialist abilities and superior qualities, and professionals with basic educational and research abilities and the ability to deal with contemporary educational issues, in order to deal with the growing diversification and increased level of practical and clinical education in from both a systematic and practical point of view. We also aim to give high level courses to qualified teachers.

For master's programs, in addition to knowledge and skills gained throughout the college program and practical classroom experience, the university is looking for students carrying the following goals.
 Graduates of the Faculty of Education or other faculties, working

teaching professionals, and foreign students

Students interested in school education and human development, or sciences relating to subject teaching, and who wish to study and research theory, specialized knowledge, and practical teaching methods. Basic Principles for Admission Selection

Based on the university's Admission Policy, the Graduate School of Education will grant admission to students based on the comprehensive evaluation of a written examination, oral examination, and practical experience, etc.

For professional degree programs, in addition to knowledge and skills gained throughout curriculum and practical classroom experience, the university is looking for students with the following goals.

Graduates of undergraduate or graduate schools Students interested in developing lesson/learning guidance methods, guiding students, providing educational counsel, and special needs education. Students interested in nurturing their practical expertise and enhancing their practical experience in the teaching profession Current teaching professionals

Students interested in taking on a guiding role in schools or communities through enhanced practical experience in order to solve various problems in class/school management, educational systems, lesson/learning guidance method development, student guidance, educational counsel,

and special needs education. **Basic Principles for Admission Selection**

Based on the university's Admission Policy, the Graduate School of Education will grant admission to students based on the comprehensive evaluation of a written examination, oral examination, and practical experience, etc.

Available Teaching Certificates and Qualifications

取得可能な資格

- ▶ 社会教育主事 ▶ 学校図書館司書教諭
- ▶ 保 育 士 (教育発達専攻 **2 幼年教育専修の学生に限る)
- ▶ 博物館の学芸員 ▶ スポーツ指導者
- ▶ 認定心理士(教育発達専攻^{※2}心理学専修の学生に限る)
- ▶ 教育支援人材 教育支援人材 (こどもパートナー・こどもサポーター (学校活動支援)・ こどもサポーター (バルシューレ)・こどもサポーター (ESD)・こどもサポーター (ICT 活用))
- ▶ 学校心理士申請のための基礎資格 (大学院修士課程 教育・心理専修 ※3 の学生に限る)
- ▶ 臨床発達心理士申請のための基礎資格 (大学院修士課程 発達教育臨床専修 ※4 の学生に限る)

※1 平成 24 年度以降入学者のみ。

※2 平成 23 年度以前入学者は"教育・発達基礎コース"。

※3 平成 27 年度以前入学者は"教育心理学専修"。

※4 平成 27 年度以前入学者は"教育臨床・特別支援教育専修"。

🖌 法人運営組織

Administrative Organization of Corporation

役員会 Board of Directors	副学長(教育担当) Vice-President for Academic Affairs	事務局 Administration Bureau
学長 President	副学長(企画担当) Vice-President for Planning	▶ 教務課 Educational Affairs Section Planning and Partnership Section
理事(教育担当) Trustee - Academic Affairs	副学長(研究担当) Vice-President for Research	▶入試課 ▶総務課 Entrance Examination Section
理事(総務担当) Trustee - General Affairs	副学長(国際交流・地域連携担当) Vice-President for International Relations	▶ 学生支援課 Student Affairs Section ト財務課 Financial Affairs Section
理事(渉外・連携担当) Trustee - Partnership Relations	and Regional Partnership 事務局長 Director General	▶ 教育研究支援課 ▶ 施 設 課 Educational and Facilities Planning Section
運営会議 Meetin ————————————————————————————————————	,	監 事(業務担当) Auditor - General Affairs 監 事(会計担当) Auditor - Accounting
▲ 教育研究評議会 Council on Education and Research		監査室 Audit Office
教授会 Faculty Meeting		研究不正防止推進委員会 Committee for the Prevention of Research Misconduct

✓ 役職員

Executives

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

	쓰트 Despident	+⊓ इस्ट	<i>Ь</i> ##	Kata Lliaga	
Dir 🔶	学長 President ····································	加藤	久雄	Kato Hisao	
◆役員・監事	理事(教育担当)·副学長(教育担当) Trustee - Academic Affairs / Vice-President for Academic Affairs	宮下	俊也	Miyashita Toshiya	
	理事(総務担当)・事務局長 Truste - General Affairs / Director General	岩井	宏	Iwai Hiroshi	
Audite 事	理事(渉外・連携担当)Trustee - Partnership Relations				
ੂ ਝ	監事(業務担当) Auditor - General Affairs	菅フ	「希子	Suga Makiko	帝塚山大学経営学部 准教授 Associate Professor, Faculty of Business Administration, Tezukayama University
	監事(会計担当)Auditor - Accounting	佐藤	雄—	Sato Yuichi	大阪市立大学商学部 特任教授 Specially-appointed Professor, Faculty of Business, Osaka City University
<	副学長(企画担当)Vice-President for Planning	豊田	弘司	Toyota Hiroshi	
īce	副学長(研究担当)Vice-President for Research	佐野	誠	Sano Makoto	
◆副学長等 Vice-Presidents	副学長(国際交流・地域連携担当) Vice-President for International Relations and Regional Partnership	高橋	豪仁	Takahashi Hidesato	
ents 等	学長特別補佐(教育連携担当) Special Advisor to the President for Educational Partnership	生田	周二	Ikuta Shuji	
	学長特別補佐(IR 担当) Special Advisor to the President for Institutional Research	和田	穣隆	Wada Yutaka	
	学長補佐(就職担当) Advisor to the President for Student's Employment	近藤	裕	Kondo Yutaka	
	学長補佐(教育課程担当) Advisor to the President for Curriculum	赤沢	早人	Akazawa Hayato	
	学長補佐(入試担当)Advisor to the President for Admissions	越野	和之	Koshino Kazuyuki	
	学長補佐(評価担当)Advisor to the President for Evaluations	森	伸宏	Mori Nobuhiro	
	学長補佐(国際交流担当) Advisor to the President for International Relations	渋谷	真樹	Shibuya Maki	
	学長補佐(地域連携担当) Advisor to the President for Regional Partnership	横山	真貴子	Yokoyama Makiko	
>	教育研究支援機構長 Director of Educational and Academic Support Organization	佐野	誠	Sano Makoto	
filiate	図書館長 Director of University Library	佐野	誠	Sano Makoto	
id 直 Inst 記	次世代教員養成センター長 Director of Teacher Education Center for the Future Generation	岩本	廣美	Iwamoto Hiromi	
itutior 等	国際交流留学センター長 Director of Center for Intercultural Exchange and Studies	渋谷	真樹	Shibuya Maki	
SI	特別支援教育研究センター長 Director of Center for Special Needs Education	根來	秀樹	Negoro Hideki	
	理数教育研究センター長 Director of Center for Educational Research of Science and Mathematics	和田	穣隆	Wada Yutaka	
	自然環境教育センター長 Director of Center for Natural Environment Education	石田	正樹	Ishida Masaki	
	保健センター長 Director of Health Care Center	辻井	啓之	Tsujii Hiroyuki	
A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	附属学校部長 Chief of Attached Schools	松川	利広	Matsukawa Toshihiro	
Affiliated Institutions	中学校長 Principal of Junior High School	松川	利広	Matsukawa Toshihiro	
e 学 i Sche	小学校長 Principal of Elementary School	今	正秀	Kon Masahide	
_응 校	幼稚園長 Director of Kindergarten	玉村	公二彦	Tamamura Kunihiko	

✓ 経営協議会委員 Management Council

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

2	学長 President	加藤	久雄	Kato Hisao	
oard o	理事(教育担当)Trustee - Academic Affairs	宮下	俊也	Miyashita Toshiya	
of Direct	理事(総務担当)Trustee - General Affairs	岩 井	宏	Iwai Hiroshi	
Directors	副学長(企画担当)Vice-President for Planning	豊田	弘司	Toyota Hiroshi	
0	副学長(研究担当) Vice-President for Research	佐野	誠	Sano Makoto	
		浅 野	詠子	Asano Eiko	ジャーナリスト Journalist
· 学 外		植野	康夫	Ueno Yasuo	株式会社南都銀行 会長 Chairman of The Nanto Bank,Ltd.
る委		菅谷	文 則	Sugaya Fuminori	奈良県立橿原考古学研究所 所長 Director of Archaeological Institute of Kashihara, Nara prefecture
ommissi		筒井	寛 昭	Tsutsui Kansho	華厳宗大本山東大寺長老 Doyen of Todaiji, Great Head Temple of Kegon Sect
sion		吉田	育弘	Yoshida Yasuhiro	奈良県教育委員会 教育長 Superintendent of Nara Prefectural Board of Education
		米川	英 樹	Yonekawa Hideki	独立行政法人 日本学生支援機構 理事 Vice President of Japan Student Services Organization

刻育研究評議会評議員 Council on Education and Research

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

学長 President	加藤久雄	Kato Hisao
理事(教育担当)Trustee - Academic Affairs	宮下 俊也	Miyashita Toshiya
副学長(企画担当)Vice-President for Planning	豊田 弘司	Toyota Hiroshi
副学長(研究担当)Vice-President for Research	佐 野 誠	Sano Makoto
副学長(国際交流・地域連携担当)Vice-President for International Relations and Regional Partnership	高橋 豪仁	Takahashi Hidesato
附属学校部長 Chief of Attached Schools	松川 利広	Matsukawa Toshihiro
教授 Professor	生田 周二	Ikuta Shuji
教授 Professor	伊藤直治	Ito Naoharu
教授 Professor	宇田 秀士	Uda Hideshi
教授 Professor	笠次 良爾	Kasanami Ryoji
教授 Professor	棚橋 尚子	Tanahashi Hisako
教授 Professor	松井 淳	Matsui Kiyoshi
教授 Professor	吉田 誠	Yoshida Makoto
	•••••	••••••



🚺 事務局 Administration Bureau

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

事務局長 Director General	岩井		Iwai Hiroshi
教務課長 Director of Educational Affairs Section	新 宮	徹	Shingu Toru
入試課長 Director of Entrance Examination Section	一鷓	宏真	Issya Hiromasa
学生支援課長 Director of Student Affairs Section	岡田	廣太郎	Okada Hirotaro
教育研究支援課長 Director of Educational and Academic Support Section	竹内	美佐子	Takeuchi Misako
企画連携課長 Director of Planning and Partnership Section	及川	善博	Oikawa Yoshihiro
総務課長 Director of General Affairs Section	藤原	博	Fujiwara Hiroshi
財務課長 Director of Financial Affairs Section	奥 野	好 幸	Okuno Yoshiyuki
施設課長 Director of Facilities Planning Section	阪本	勇	Sakamoto Isamu



平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

役職名 Official Title of Teaching Staff		大学教員 Teaching Staff (University)											事務職員						
区分	学長・理事 President・ Trustee		教授 Professors		准教授 Associate Professors		講師 Lecturer		助教 Research Associate		助手 Research Assistant		ו∖∖ Sub	計 total	技術職員 Administrative Staff		計 Total		
Classification	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	計 Total
学長・理事 Board of Management	3												0	0			3	0	3
事務局 Administration Bureau													0	0	44 (1)	14	44 (1)	14	58 (1)
教育学部 Faculty of Education			40	6	21	10	1						62	16			62	16	78
大学院教育学研究科(専門職学位課程) School of Professional Development in Education			7 (1)	1	4	1	1						12 (1)	2			12 (1)	2	14 (1)
次世代教員養成センター Teacher Education Center for the Future Generation			2 (1)		3	1							5 (1)	1			5 (1)	1	6 (1)
国際交流留学センター Center for Intercultural Exchange and Studies				(1)		1							0	1 (1)				1 (1)	1 (1)
特別支援教育研究センター Center for Special Needs Education			(1)										(1)	0			(1)	0	(1)
理数教育研究センター Center for Educational Research of Science and Mathematics			1 (1)										1 (1)	0			1 (1)	0	1 (1)
自然環境教育センター Center for Natural Environment Education			(1)		1								1 (1)	0			1 (1)	0	1 (1)
保健センター Health Care Center			1										1	0		1	1	1	2
小計	3	0	51 (5)	7 (1)	29	13	2	0	0	0	0	0	82 (5)	20 (1)	44 (1)	15	129 (6)	35 (1)	164 (7)
/J\ ∏ Subtotal	3	3	58	(6)	4	2	2	2	()	()	102	(6)	59	(1)	1	64 (7	7)

役職名		附属学校教員 Teaching Staff (School Attached University)															
Official Title of Teaching Staff Classification		教頭 Vice-Principal		主幹教諭 Chief Teachers		教諭 Teachers		養護教諭 Nurse Teachers		栄養教諭 Diet and Nutrition Teachers		\言 † btotal	- 事務職員 技術職員 Administrative Staff		≣† Total		
	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	計 Total
附属中学校 Junior High School	1		1		17	9		2			19	11	1		20	11	31
附属小学校 Elementary School	1		1		12	16		1		1	14	18		2	14	20	34
附属幼稚園 Kindergarten		1				5		1			0	7	1		1	7	8
/」\言┼ Subtotal	2	1	2	0	29	30	0	4	0	1	33	36	2	2	35	38	73
	3		2	2		59		4		1		69		4		73	

()内は兼務を外数で表す。
 特任教員、非常勤教職員は除く。
 The numbers in parentheses indicate the personnel who are officially classified to belong to other sections, in addition to the regular figures.
 They exclude Specially-appointed, part-time faculty.



■ 教育学部 Faculty of Education

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

課 程 Departments		コース/専攻・専 Course		入学 定員 Enrollment Limit	人 Recru	集 員 Litment rget	収容 定員 Admission Capacity	Current 男 Male	現員 Enrollment 女 Female	Numbers 言十 Total
		教育学専修 Pedagogy			1	3		27	41	68
		心理学専修 Psychology			1	3		17	41(2)	58(2)
	教育発達専攻 Educational Progress	幼年教育専修 Early Childho	od Education		1	11		2	53(1)	55(1)
	Flogress	特別支援教育専修 Special	Support Education		1	11		18	32	50
		地域推薦 Nara Area only Rec	ommendation			7				
		国語教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		24	13		26	35	61
		Japanese	中等教育履修分野 Secondary Education		24	11		26(1)	22	48(1)
		社会科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	1	24	13		39	24	63
		Social Studies	中等教育履修分野 Secondary Education		24	11		31	18	49
		数学教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		25	13		38	25	63
		Mathematics	中等教育履修分野 Secondary Education		25	12		49	2	51
		理科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		28	16		48	27	75
		Science	中等教育履修分野 Secondary Education	255	20	12	1,020	36	14	50
		音楽教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	200	17	13	1,020	7	50	57
学校教育教員 養成課程 Department of Teacher Training and School Education	教科教育専攻 Curriculum & Instruction	Music	中等教育履修分野 Secondary Education		17	4		0	14	14
		美術教育専修 Fine Arts	初等教育履修分野 Elementary School Education	-	10	6		3	23	26
		Fine Arts	中等教育履修分野 Secondary Education		10	4		3	14	17
		保健体育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	ation		18	10		36	9
		Health & Sports Science	中等教育履修分野 Secondary Education		10	8		27	11	38
		家庭科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		8	4		1	22	23
		Home Economics	中等教育履修分野 Secondary Education		0	4		1	16	17
		技術教育專修 Technology	中等教育履修分野 Secondary Education			4		16	3	19
		英語教育専修 English	中等教育履修分野 Secondary Education		1	2		32	22	54
		地域推薦(初等教育履修分	野のみ) Nara Area only Recommendation			8				
	伝統文化 教育専攻	書道教育専修 Calligraphy			1	5		5	59	64
	教育等以 Traditional Culture	文化遺産教育専修 Cultura	I Heritage			7		8	22	30
	教育・発達基礎	コース Education & Developmen	t	/			/	1	0	1
	言語・社会コー	ス Language & Social Studies						2	2	4
	理数・生活科学	コース Math & Science			/	/		1	2	3
	身体・表現コー	A Physical & Artistic Education		/			/	0	0	0
総合教育課程	文化財・書道芸	術コース Cultural Property & Ca	lligraphy					0	3	3
応ロ 秋 日 赤 住 Department of Comprehensive Education	環境教育コース	Environmental Education						1	1	2
Luudallon	科学情報コース	Science & Information					/	5	0	5
		計 Total		255	2	55	1,020	506(1)	607(3)	1,113(4)

)内は外国人留学生数を外数で示す。

The numbers in parentheses indicate foreign students, in addition to the regular figures.



平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

課程		専攻・専修 Courses	収容 定員		現員 The number of stud	dents
Programs		すべ すゆ oource	Admission Capacity	男 Male	女 Female	計 Total
	人間発達専攻	教育・心理専修 Education & Psychology	9	1(1)	0	1(1)
	Human Development	発達教育臨床専修 Developmental Clinical Education	9	0	5(1)	5(1)
		国語教育・日本語日本文化教育専修 Japanese Language & Culture		3	2	5
		社会科教育専修 Social Studies		4	2(1)	6(1)
教育学研究科		数学教育專修 Mathematics		5	0	5
(修士課程) Master'Course Master's Program in		理科教育専修(文化財科学を含む)Science		4	2	6
Master's Program in Education	教科教育専攻 Curriculum & Instruction	音楽教育專修 Music	36	1	3	4
	Instruction	造形表現(美術・書道)・伝統文化教育専修 Fine Arts		2	4(1)	6(1)
		保健体育専修 Health & Sports Science		1	0	1
		英語教育専修(異文化理解を含む)English		3	0	3
		生活科学教育専修 Sciences of Living		0	1	1
(平成 27 年度以前)		教育科学専修 Educational Science		1(1)	1	2(1)
(一入学者)	学校教育専攻 School Education	教育心理学専修 Educational Psychology	10	1 (1)	0	1 (1)
		教育臨床・特別支援教育専修 Education & Clinical Psychology & Special Needs Education		4(1)	5(2)	9 (3)
		国語教育・日本語日本文化教育専修 Japanese Language & Culture		0 (2)	3(1)	3 (3)
		社会科教育専修 Social Studies		2(1)	0	2(1)
教育学研究科 (修士課程)		数学教育専修(情報を含む)Mathematics		6	0	6
Master'Course Master's Program in Education		理科教育専修(文化財科学を含む)Science		8(1)	5	13(1)
Education	教科教育専攻 Curiculum & Instruction	音楽教育専修 Music	40	1	5	6
	manucaun	美術教育専修(書道、伝統文化・文化財を含む)Fine Arts		1	8	9
		保健体育専修 Health & Sports Science		2	0	2
		英語教育専修(異文化理解を含む)English		0	0	0
		生活科学教育専修 Sciences of Living		0	0	0
教育学研究科(専門職 Master's Program in Education		開発専攻 iessional Development in Education	45	35 (8)	27 (6)	62 (14)
		計 Total	140	85 (4) (12)	73(3)(9)	158(7)(21)

()内は外国人留学生数を外数で示す。 The numbers in parentheses indicate foreign students, in addition to the regular figures.
 ()内は現職教員数を内数で示す。 The numbers in brackets indicate number of teachers who are currently employed.

■ 科目等履修生・研究生 Nondegree students and Research Students

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

区 分 Classification	現員 The number of students							
Classification	男 Male	女 Female	計 Total					
学部科目等履修生 Nondegree students / Undergraduate	17 (2)	20 (6)	37 (8)					
大学院科目等履修生 Nondegree students / Graduate School	0	0	0					
学部研究生 Research Student / Undergraduate	0(2)	0 (4)	0 (6)					
大学院研究生 Research Student / Graduate School	3 (1)	0 (2)	3 (3)					
計 Total	20 (5)	20 (12)	40 (17)					

() 内は外国人留学生数を外数で示す。 The numbers in parentheses indicate foreign students, in addition to the regular figures.

学部科目等履修生には、日本語・日本文化研修留学生、本学大学院在学中の学生を含む。 Figures for Audit Student/Faculty include foreign research students studying Japanese language and culture and graduate school students. 大学院研究生には、教員研究留学生、研究留学生を含む。 Research Student/Graduate School figures include foreign trainee teachers and foreign research students.

特別聴講学生、特別研究学生は除く。 Excluding non-registered students and special research students.

🔽 平成 27 年度までの卒業・修了者数(累計) Total number of alumni and alumnae

教育学部 Faculty of Education		昭和28年~ 1953~	15,896人
大学院 Graduate School	修士課程 Master's Program	昭和58年~ 1983~	1,766人
入 子 阮 Graduate School	專門職学位課程 Professional Degree Program	平成21年~ 2009~	109人

🙀 平成28年3月卒業・修了者の進路状況 Job Placement Statistics 2016

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

									1			51 Way 1, 2016
就 職 Kinds o	、 先 等 if Employment	ent	課程等 Classification of Course	Faculty of Educatio	教育学部	(参考)平成27年3月 2015	Master's Program in Education	大学院教育学研究科(修士課程)	(Professional)	大学院教育学研究科(専門職学位課程)	Special Course for Teachers for Special Support Education	特別支援教育特別専攻科
	1.12			A	%	%	A	%	A	%	人	%
卒業·(修了者	Number of	Graduates	263			<pre> <8> 48</pre>		(3) 16		12	
		_	小学校 Elementary Schools	22			(1) 3		<1> 3			
		within Nara Pref.	中学校 Junior High Schools	7			<1> 1					
	国公	ara 県 Pref	高等学校 High Schools	2			<1> 1		<1> 1			
	立学		中等教育学校 Secondary Education Schools	0								
	国公立学校 National and Public Schools		小学校 Elementary Schools	43			<1> 2					
	nal and	outside Nara Pref.	中学校 Junior High Schools	6			4		<1> 1			
	Public S	Nara Pre	高等学校 High Schools	9			1					
教	schools		中等教育学校 Secondary Education Schools	0								
教員就職者数		特別支	· 援学校 Special Needs Education Schools	5			<1> 1				5	
^戦 者 数		幼稚園	Kindergartens	6								
	±1	小学校	Elementary Schools	1								
School Teachers		中学校	Junior High Schools	0								
ners	校 Priv	高等学	校 High Schools	0								
	私立学校 Private School	中等教	育学校 Secondary Education Schools	0								
		幼稚園	Kindergartens	0								
	大学・タ	短大·高朝	事 Universities	0			1					
			小計 Subtotal	101	38.4	36.9	(5) 14	29.2	(3) 5	31.3	5	41.7
	期	限付	奈良県内 within NARA Prefecture	19	7.2	5.6	6	12.5	5	31.3		
	Limite Con	<用 ed term tracts	奈良県外 outside NARA Prefecture	32	12.2	10.4	<1> 7	14.6	2	12.5	3	25.0
	教員採 School T	《用者 計 eachers To	tal	152	57.8	53.0	〈6〉 27	56.3	(3) 12	75.0	8	66.7
		1	職者 Company Employees	33	12.5	12.9	<pre> <2> 10</pre>	20.8	_			
Other	教員外就職者数	公務員	就職者 Public Service Employees	12	4.6	4.8	2	4.2	1	6.3		
S	· W 者 数	小計		45	17.1	17.7	〈2〉 12	25.0	1	6.3	0	0.0
就職者		Employment	t in Total	197	74.9	70.7	(8) 39	81.3	(3) 13	81.3	8	66.7
Pc		大学院	Graduate School	37	14.1	15.7	2	4.2			1	8.3
ost-Grad	進学者数	大学院	以外 Others	2	0.8	0.4	1	2.1				
luates	数	小計	Subtotal	39	14.8	16.1	3	6.3	0	0.0	1	8.3
未就職	战者 Not	yet got a jo	b	27	10.3	13.3	6	12.5	3	18.8	3	25.0
就職率	Employ	ment Rate			87.9	84.2		86.7		81.3		72.7
				\checkmark			\checkmark		\checkmark		\checkmark	

〈 〉内は現職教員数を内数で示す。 The numbers in brackets indicate number of teachers who are currently employed. 未就職者には、教員就職希望者、企業就職希望者、公務員就職希望者、家事手伝い、外国人留学生の帰国者、アルバイト等を含む。 就職率は、卒業又は修了者数から進学者数を除いて算出した率である。 The numbers of the graduates who have yet to find work includes applicants for teachers, government officers, salaried workers, as well as part-time workers, house keepers and foreign students who returned home after graduation. Rate of employment is calculated by excluding post-graduate students.



平成 27 年度卒業・修了者の教員免許取得状況 Undergraduates and graduates with teaching certificates in the 2015 academic year

■ 学校種別教員免許状取得状況(教育学部) Type of teaching certificates based on schools (Faculty of Education)

	Aumber of Graduates	免許状取得者数 Holders of teaching certificates	Elementary Schools	小学校	Junior High Schools	中学校	High Schools	Special Needs Education Schools	特別支援	Kindergartens	幼稚園	Nurse teacher	養護教諭		
	uates	中数 artificates	 種	二種	 種	二種	 種	 種	二種	 種	二種	 種	二種	 種	二種
学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training and School Education	261	261	198		209	1	246	28		42		8		731	1
総合教育課程 Department of Comprehensive Education	5	2			1	1	2							3	1
青十 Total	266	263	198	0	210	2	248	28	0	42	0	8	0	734	2

■ 学校種別教員免許状取得状況(大学院教育学研究科) Type of teaching certificates based on schools (Graduate school of Education)

修了者数		Elementary Schools Holders of teaching certificates Number of Graduates		中学校 Junior High Schools		High Schools	Figh Schools		特別支援 Education Schools		Kindergartens		Nurse teacher		Total			
	Jates	9 数 artificates	専修	 種	専修	 種	二種	専修	 種	専修	 種	専修	 種	専修	 種	専修	_ 種	二種
学校教育専攻 School Education	6	5	2		1			1		4						8	0	0
教科教育専攻 Curriculum and Instruction	43	36	19	1	31	2	2	36	2		2	3				89	7	2
教職開発専攻 Professional Development in Education	16	16	11		10			11				1				33	0	0
計 Total	65	57	32	1	42	2	2	48	2	4	2	4	0	0	0	130	7	2

■ 学校種別教員免許状取得状況(特別支援教育特別専攻科) Type of teaching certificates based on schools (Diploma Course)

	卒業者数	免許状取得者数	特別支援 Special Needs Education Schools				
	Number of Graduates	Holders of teaching certificates	専修	一種			
情緒障害・発達障害教育専攻 Major of Education for Emotionally- Disturbanced Children and Developmental Disabled Children	12	12	0	12			

■ 教科別教員免許取得状況(教育学部) Type of teaching certificate based on subjects (Faculty of Education)

		学校教育教員養成課 of Teacher Training and Sc		Depart	総合教育課程 ment of Comprehensive E	ducation
	中一種	中二種	高一種	中一種	中二種	高一種
国語 Japanese language	37		35			
社会 Social Studies	28		-			-
地理歴史 Geography & History	-	-	25	-	_	
公民 Civics	-	_	21	_	-	
数学 Mathematics	25		25			
理科 Science	29		29	1	1	2
音楽 Music	19		19			
美術 Fine Arts	18		17			
書道 Calligraphy	-	-	14	-	-	
保健体育 Health & Physical Education	18		18			
技術 Technology	4		-			-
工業 Industry	-	-	3	-	-	
家庭 Home Economics	10		10			
情報 Information Studies	-	-	9	-	-	
英語 English	21	1	21			
計 Total	209	1	246	1	1	2

■ 教科別教員免許取得状況(大学院教育学研究科) Type of teaching certificate based on subjects (Graduate school of Education)

	学校教育専攻 School Education						枚科教育専 iculum & Instr			Profe	教職開 ssional Devel]発専攻 opment in Ed	ucation
	中専修	中一種	高専修	高一種	中専修	中一種	中二種	高専修	高一種	中専修	中一種	高専修	高一種
国語 Japanese language					2	2		2	2	3		3	
社会 Social Studies	1		_	_	3			_	_	3		_	_
地理歴史 Geography & History	_	_			-	_	-	2		_	-	3	
公民 Civics	_	_	1		_	_	_	1		_	_	1	
数学 Mathematics					3		2	3		2		2	
理科 Science					8			8					
音楽 Music					5			5					
美術 Fine Arts					4			4					
書道 Calligraphy	_	_			_	_	_	4		_	_		
保健体育 Health & Physical Education					3			3		1		1	
技術 Technology			_	-				_	_			_	_
工業 Industry	_	_			_	_	_			_	_		
家庭 Home Economics					1			1					
情報 Information Studies	_	_			_	_	_			_	_		
英語 English					2			3		1		1	
計 Total	1	0	1	0	31	2	2	36	2	10	0	11	0

A 平成 28 年度入学状况 The Number of Newly-Enrolled Students 2016

■ 教育学部 Faculty of Education

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

Depar		専攻・専修	・履修分野	入学定員	Nur	志願者数 nber of Applic	ants	Number o	合格者数 f Successful /	Applicants	Number of	入学者数 Newly-Enrolle	ed students
Departments		Cou		定員 Enrollment Limit	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
	Edug教	教育学専修 Pedago	ogy	15	26(1)(1)	56 (2) (2)	82 (3) (3)	3	13(1)	16(1)	3	13(1)	16(1)
	ătion 発	心理学専修 Psycho	logy	15	24 (2)	48 (2)	72 (4)	3	13	16	3	12	15
	教育発達専攻 Educational Progress	幼年教育専修 Earl	y Childhood Education	13	4	84(1)	88(1)	1	12(1)	13(1)	1	11(1)	12(1)
	ress 文	特別支援教育専修 Special Support Education		12	18	41	59	5	7	12	5	7	12
		初等教育履修分野 Elementary School Education		13	17	37	54	6	8	14	6	8	14
		Japanese 中等教育履修分野 Secondary Education 初等教育履修分野		12	25	41	66	6	7	13	5	7	12
学		社会科教育專修 初等教育履修分野 Elementary School Education		14	30	15	45	9	6	15	9	6	15
学校教育教員養成課程	A Social Studies Social Studies 中等教育履修分野 Secondary Education		11	35	13	48	8	4	12	8	4	12	
教員		数学教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	14	32(1)	19	51(1)	9	6	15	9	6	15
養成	對	数字教育專修 Mathematics Secondary Education		12	43	10	53	13	0	13	12	0	12
課程	教科科育	理科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	17	42	16	58	13	5	18	13	5	18
Depa	専	Science	中等教育履修分野 Secondary Education	12	56(1)	10	66(1)	10(1)	2	12(1)	9(1)	2	11(1)
rtment	攻	音楽教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	14	6	48	54	1	13	14	1	13	14
of Teac	Surricul	Music	中等教育履修分野 Secondary Education	4	1	12	13	0	4	4	0	4	4
ther Tra	um & Ir	美術教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	7	6	18	24	2	5	7	1	5	6
Department of Teacher Training and School Education	Curriculum & Instruction	Fine Arts	中等教育履修分野 Secondary Education	4	0	16	16	0	4	4	0	4	4
nd Sch	on (保健体育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	11	34	31	65	9	3	12	9	3	12
ool Edi		Health & Sports Science	中等教育履修分野 Secondary Education	8	43	16	59	6	3	9	6	3	9
ucation		家庭科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	5	3	38	41	1	5	6	1	4	5
		Home Economics	中等教育履修分野 Secondary Education	4	3	33	36	1	4	5	1	4	5
		技術教育専修 Technology	中等教育履修分野 Secondary Education	4	38	6	44	5	1	6	4	1	5
		英語教育専修 English	中等教育履修分野 Secondary Education	12	61	25(1)	86(1)	9	4	13	9	3	12
	伝統文化教	書道教育専修 Call	igraphy	15	16	74	90	0	16	16	0	16	16
	書道教育専修 Calligraphy 書道教育専修 Calligraphy 文化遺産教育専修 Cultural Heritage			7	9	26	35	3	6	9	3	5	8
	◎ C			255	572 (4) 〈2〉	733 (5) (3)	1,305 (9) (5)	123 〈1〉	151 (1)(1)	274 (1)〈2〉	118 〈1〉	146 (1)(1)	264 (1) (2)

志願者数、受験者数は第1志望のみ、合格者数、入学者数には第2志望を含む。()内は外国人留学生数を外数で示す。 〈 〉内は帰国生徒特別入試を外数で示す。
The numbers of applicants and test-takers includes only the first choice, and the numbers of successful applicants and newly-enrolled students includes the second choice. The numbers in parentheses indicate foreign students, in addition to the regular figures. The numbers in brackets indicate the number of returnee applicants for the special entrance examinations.

■ 出身高校都道府県別入学者数

Entrants listed according to high-schools and prefectures of origin.





■ 大学院 Graduate School of Education

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

課程	専攻・専修	入学定員	Nur	志願者数 nber of Applica	ants	Number o	合格者数 of Successful A	opplicants	Number of	入学者数 Newly-Enrolle	ed students
Programs	Major	Enrollment Limit	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
	人間発達専攻 Human Development		2 (1)	5 (2) <1>	7 (3) <1>	1 (1)	5 〈1〉	6 (1) <1>	1 (1)	5 〈1〉	6 (1) <1>
	教育・心理専修 Education & Psychology	9	1 (1)	(2)	1 (3)	1 (1)	0	1 (1)	1 (1)	0	1 (1)
教育	発達教育臨床専修 Developmental Clinical Education		1	5 〈1〉	6 〈1〉	0	5 〈1〉	5 〈1〉	0	5 〈1〉	5 〈1〉
教育学研究科	教科教育専攻 Curriculum & Instruction		27	17 (2)	44 (2)	26	15 (2)	41 (2)	23	14 (2)	37 (2)
	国語教育・日本語日本文化教育専修 Japanese Language & Culture		4	2	6	3	2	5	3	2	5
(修士課程)	社会科教育専修 Social Studies		5	4 (1)	9 (1)	5	3 (1)	8 (1)	4	2 (1)	6 (1)
	数学教育専修 Mathematics		6	0	6	6	0	6	5	0	5
Master	理科教育専修(文化財科学を含む) Science		5	2	7	5	2	7	4	2	6
s Progra	音楽教育専修 Music	36	1	4	5	1	3	4	1	3	4
Master's Program (in Education)	造形表現(美術·書道)・伝統文化教育専修 Artistic Expression (Art & Calligraphy) & Traditional Cultural Education		2	4 (1)	6 (1)	2	4 (1)	6 (1)	2	4 (1)	6 (1)
ucation)	保健体育専修 Health & Sports Science		1	0	1	1	0	1	1	0	1
	英語教育専修(異文化理解を含む) English		3	0	3	3	0	3	3	0	3
	生活科学教育専修 Sciences of Living		0	1	1	0	1	1	0	1	1
	名科(専門職学位課程)教職開発専攻 Degree Program (in Education)	25	24 〈7〉	19 〈3〉	43 〈10〉	19 〈6〉	14 (3)	33 〈9〉	18 〈6〉	13 〈3〉	31 〈9〉
	計 Total	70	53 (1) 〈7〉	4] (4) 〈4〉	88 (5) 〈11〉	46 (1) 〈6〉	34 (2) 〈4〉	80 (3) 〈10〉	42 (1) 〈6〉	32 (2) 〈4〉	74 (3) ⟨10⟩

()内は外国人留学生数を外数で示す。〈 〉内は現職教員数を内数で示す。 The numbers in parentheses indicate foreign students, in addition to the regular figures. The numbers in brackets indicate the number of teachers who are currently employed.

爱学制度 Tuition Reimbursement Program

■ 奨学生 Scholarship Students

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

	apanese Student Services			Fa	学部 aculty of Educati	on		Gradua	ucation	計	
			】年次 1st. year	2年次 ^{2nd.} year	3年次 ^{3rd.} year	4年次 4th. year	計 Total	】年次 1st. year	2 年次 ^{2nd.} year	計 Total	Total
	日本学生支援機構		40	42	41	37	160	7	16	23	183
č	Japanese Student Services Organization (JASSO)		36	45	50	48	179	3	8	11	190
	その作	也 Others	0	0	1	1	2	0	0	0	2
	計 Total		76	87	92	86	341	10	24	34	375



■ 交流状況 Academic Exchange and Cooperation

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

区分	Classification		年度 Year	平成27年度 2015	平成26年度 2014	平成25年度 2013	平成24年度	平成23年度
	ロックヘイブン;	大学	受入 Students studying from abroad	1		2	2	1
	Lock Haven University"	派遣 N.U.E. students studying abroad	3	2	1	2	3	
	セントラルミシ	ガン大学	受入 Students studying from abroad	2	1	3	1	
	Central Michigan University		派遣 N.U.E. students studying abroad	2	2	1	1	1
	ハイデルベルク;	大学	受入 Students studying from abroad	2	1	1	1	2
	Heidelberg University		派遣 N.U.E. students studying abroad		1		2012 2011 2 1 2 3 1 1	4
Inter	嶺南大学校		受入 Students studying from abroad	1		1		
交流状況 International Exchange	Yeungnam University		派遣 N.U.E. students studying abroad		1			
IExcha	ブカレスト大学 University of Bucharest		受入 Students studying from abroad	1		1	1	1
nge			派遣 N.U.E. students studying abroad				2	
	リヨン第三大学		受入 Students studying from abroad	2	2	2	1	2
	Jean Moulin - Lyon 3 L	Jniversity	派遣 N.U.E. students studying abroad	3			1	1
	西安外国語大学		受入 Students studying from abroad	2	2	2	1	
	Xi'an International Stu	dies University	派遣 N.U.E. students studying abroad				2012 2011 2 1 2 3 1 1 1 1 1 2 2 4 2 4 2 1 1 1 2 4 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 7 8 9	
	華東師範大学		受入 Students studying from abroad		2	2	1	
	East China Normal Ur	iversity	派遣 N.U.E. students studying abroad					
	≣† Total		受入 Students studying from abroad	11	8	14	10	7
	#1 Iotai		派遣 N.U.E. students studying abroad	8	6	2	8	9
Ŀ	开究者交流	派遣 Nara University	of Education's official visit to foreign universities					
	イルロス/ml archers Exchange	嶺南大学校 From Yeungnar	より					1

■ 外国人留学生 Foreign Students Studying at N.U.E.

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

区分 Classificatio	国籍 Nationality n	インド India	インドネシア Indonesia	タイ Thailand	フィリピン Philippines	ミヤンマー Myanmar	韓国 Korea	壬囲 China	ドイシ Germany	フランス France	チェコ Czech	ポーランド Poland	ルーマニア Romania	ロシア Russia	アメリカ U.S.A.	計 Total
Japar Scho	研究留学生 Research Students															0
国費留学生	教員研修留学生 Teacher Training Students				1	1	1									3
国費留学生 Japanese Government Scholarship Program	日本語・日本文化 研修留学生 Japanese Studies Students	1	2						1		1	1	1	1		8
	学部学生 Faculty of Education							4								4
Studying	大学院学生 Graduate School of Education			1				6								7
私費留学生 Studying at their own Expense	学部研究生 Research Students / Faculty of Education							6								6
n Expense	大学院研究生 Research Students / Graduate School of Education															0
CD	特別聴講学生 Exchange students						1	2	1	2					1	7
	計 Total	1	2	1	1	1	2	18	2	2	1	1	1	1	1	35

国	大 学 名	締 結
Countries	Universities	Date of Agreements
アメリカ	ロックヘイブン大学	昭和 61 年 7月 11日
U.S.A.	Lock Haven University	Jul. 11, 1986
ドイツ	ハイデルペルク大学	平成 5年 4月 1日
Germany	Heidelberg University	Apr. 1, 1993
アメリカ	セントラルミシガン大学	平成 8 年 7 月 30 日
U.S.A.	Central Michigan University	Jul. 30, 1996
韓国	嶺南大学校	平成 11 年 2月 8日
Korea	Yeungnam University	Feb. 8, 1999
ルーマニア	ブカレスト大学	平成 11 年 3月 9日
Rumania	University of Bucharest	Mar. 9, 1999
フランス	リヨン第三大学	平成 16 年 3月 3日
France	Jean Moulin - Lyon 3 University	Mar. 3, 2004
中国	西安外国語大学	平成 17 年 6月 30日
China	Xi'an International Studies University	Jun. 30, 2005
インドネシア	インドネシア教育大学	平成 17 年 12月 5日
Indonesia	Indonesia University of Education	Dec. 5, 2005
中国	華東師範大学	平成 21 年 7月 27日
China	East China Normal University	Jul.27, 2009
韓国	公州大学校	平成 21 年 8月 24日
Korea	Kongju National University	Aug.24, 2009
韓国	光州教育大学校	平成 22 年 6月 15日
Korea	Gwangju National University of Education	Jun.15, 2010
中国	香港教育学院	平成 28 年 3月 25日
China	Hong Kong Institute of Educaion	Mar.25, 2016

■ 国際交流協定 International Academic Exchange Agreement



- コネスコスクール The UNESCO Associated Schools Project Network (ASPnet)

http://www.nara-edu.ac.jp/unesco/



平成19年7月、本学は日本 の大学として初めてユネスコス クールに加盟しました。ユネス コスクールは、ユネスコが推し 進めている理念を学校現場で 実践することを目的としていま す。具体的内容として、ユネスコ

スクールのネットワークを利用して世界中の学校と生徒間・教師間で交 流し、情報や体験を分かち合ったり、地球規模の諸問題に若者が対処で きるような新しい教育内容やその手法の開発、発展を目指します。

本学は、大学の教育・研究の柱として「『奈良・世界遺産』を生かした 教育と研究の充実」を掲げ、日本で最多の世界遺産を有する奈良県に ある大学として、ユネスコが世界的規模で進めている世界遺産の保全 ・保護に関する環境教育や文化教育に取り組んできました。世界遺産・ 文化遺産を核とした「持続可能な開発のための教育(ESD:Education for Sustainable Development)」の普及と推進の実践を、次世代 教員養成センターのもとに、さらに拡充させていきます。

In July 2007, our university became the first UNESCO Associated School of Japanese Universities.

UNESCO Associated Schools aim to promote UNESCO values, facilitate cultural exchange networks among schools, teachers and individual students, share information, and develop new educational methods and systems which will enable young people to deal with important issues on a global level.

One of the themes of education and research at our university is "enhancing education and research that makes the most of the World Heritage of Nara." As a university in Nara Prefecture, which boasts the largest number of World Heritage Sites in Japan, we have worked hard to develop environmental and cultural education relating to preservation and protection of World Heritage, which UNESCO is promoting on a global scale. Through efforts led by the Teacher Education Center for the Future Generation, we will further expand our dissemination and promotion of Education for Sustainable Development (ESD) whose core is world heritage and cultural heritage.



■ 平成 28 年度 ならやまオープンセミナー (公開講座) Narayama Extention Courses 2016.

講座名	開催日・期間	内容	対象	場所
親子で学ぶ奈良 -きっと気に入る木のお もちゃ作り	4月23日(土)	「木」をテーマに、リュールシロフォンやキューブパズ ルを作ります。おもちゃ作りを通して、子どもと木の 距離を少し小さくし、木の文化やサービスについて親 子で考えてみませんか。	小 3 ~中学生と その保護者	次世代教員養成センター 2号館 多目的ホール
英 語・イギリスの昔話 "Kate Crackernuts" を 読もう	4月23日(土) 4月30日(土) 5月7日(土) 5月14日(土) 5月21日(土) 5月28日(土) 6月4日(土) 6月11日(土) 6月18日(土) 6月25日(土)	「言語習得は、母語も外国語も、そのメッセージを理解 することによってのみ、おこる。」本講座では、イギリ ス人の英語的発想を身につけることを目的とした講座 です。そのために、イギリス人の『昔ばなし』を言語 教材として、英語的感覚を体験していただきたい。わ かりやすくお話します。受講者には、初歩的英語力が あれば大丈夫です。	一般の方	次世代教員養成センター 1 号館
畑で汗を流しませんか	5月11日(水) 6月8日(水) 6月29日(水) 7月27日(水) 9月7日(水) 11月9日(水) 12月7日(水)	今日、私たちが摂取する野菜類の多くは農薬などを 用いて栽培されています。本講座は、安心して食べ ることができる無農薬野菜の栽培を行うと共に、畑 に関わる様々な生き物についても学ぶことを目的と しています。	一般の方	奈良実習園
傷害予防塾	5月29日(日) 6月8日(水) 6月16日(木)	近年の子ども達の健康課題として、体力低下だけで なくスポーツや学校現場でのケガの多さが指摘され ています。本プロジェクトでは、様々な方法を傷害 予防戦略として体系立てた上で、教員・指導者を対 象としてこの戦略に基づく研修会を系統的に通年開 催し、傷害予防のためのコンテンツを現場介入方法 として提供します。あわせて教員・指導者が現場実 践を行う際の支援も行います。	大学生~高校生、 教員、保育士、 スポーツ指導者、 一般の方	大講義室 、 図書館ラーニングコモンズ
米つくり体験学習	6月4日(土) 10月8日(土) 12月10日(土)	私達が普段なにげなく食べている米がどのようにつ くられているかを田植えから収穫まで直接体験する ことで作物の大切さを認識し、勤労の喜びを味わう とともに農業に対する理解を深めることを目的とし て実施します。	小学生(3年生以 上)・中学生及び その保護者	奈良実習園
学校現場における動機づ け面接(Motivational interviewing)の適用	6月12日(日)	学校教育の中で教員が子どもと、よりよい「信頼 関係」をつくることは、全ての教育活動の土台と なり、学業の向上や豊かな学校生活を送る上で の基盤となります。動機づけ面接(Motivational Interviewing)は、元々、医療の中での医師一患者 関係改善のために開発された方法ですが、現在では 米国の教育現場の中で、教員やカウンセラーが用い る有効なコミュニケーションの方法として広く知ら れています。	教職員、学生、 スクールカウン セラー子どもに かかわる職種の 方々	次世代教員養成センター 2号館 多目的ホール

上記は本概要発行時の情報です。最新の情報や詳しい内容については、下記ホームページでご確認ください。

http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/

■ 平成 28 年度 フレンドシップ事業 2016 Friendship Project

教員の養成段階において、本学学生が様々な体験活動を通して、子どもたちとふれあい、子どもたちの気持ちや行動を理解し、実践的指導力の基礎を 身につけることを目的とした事業です。

事業名	開催日・期間	内容	対象	場所
味覚をいかしたクッキング	12月10日(土)	調理実習を主として、使用する食材の調理特性について も理解を深めます。	小学生(3~6年生) 50名	奈良教育大学・ 奈良教育大学附 属小学校
書道を楽しもう	7月17日(日)・ 18日(月)	漢字や仮名の臨書法に関して基本的な半紙などへのおさ め方や、現在奈良教育大学で行われている授業の一端を学 生の指導で体験してもらいます。	高校生60名	奈良教育大学
飛行コンテスト	7月23日(土)	飛行機の飛行原理、ものづくりの過程を理解し、ものを完 成させる充実感、組み立てるときに友だちを手伝う協調 性、コンテストによる飛行で競争心を醸成します。	小学生(4~6年生) 25名	奈良教育大学 及び附属小学校 グラウンド
わくわくアートプロジェクト ー曽爾小学校ワークショッ プー	10月22日(土)	曽爾小学校の特色を生かした題材を研究・開発し、児童たち の学年間の交流を重視した活動を行います。	曽爾村立 曽爾小学校児童	曽爾村立 曽爾小学校

各企画の実施詳細は、本学ホームページに随時掲載されます。 http://www.nara-edu.ac.jp/general/friendship%2023index.html

■ オープン・クラス Open Classes

オープン・クラスは、大学の授業を一般の方に公開し、学生とともに受講していただくものです。 これは、本学が行う大学開放事業の一環で、本学教育学部で開設している授業の一部を公開し、大学を生涯学習の場として活用するという社会的要請 に応えるとともに、地域社会と大学との連携を深めようとするものです。 http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/open_class/

✓ 平成 28 年度学生企画活動支援事業 Student Activities Support Project 2016

本学学生が自ら企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会 性を高め、もって優れた教員として、又、社会人として成長することを目的としています。

事業名	開催日・期間	内容	対象	場所
楽器ふれあいコンサート ~音楽に親しんでもらおう!~	通年	地域の保育園、幼稚園、小学校や福祉施設 で楽器の演奏会を行い、生の音楽や楽器に 触れることで音楽や楽器の魅力を伝える	地域の方、幼児、児童	奈良県内の幼稚園・ 小学校等
おいでよ!わくわく☆造形ひろば ~第16回「造形ひろば」~	大学祭期間中	「ものづくり」を通して交流する環境を提 供し、普段の生活ではあまりできない造形 活動を地域の子どもたちと実施する	地域の児童・生徒と その保護者	本学
なっきょんファーム ~植えて!育てて!おいしく食べよう!! ~	通年	実習園で自ら育て、収穫した農作物を使用 し、調理を行うことで食の楽しみを味わ い、それを通して食の大切さに気づき、学 生の食意識の向上を図る	本学学生	本学
学生オペラ2017 「こうもり博士の愉快な復讐劇〜すべては シャンパンの泡のせい?〜」	通年	学生オペラ ヨハン・シュトラウス2世 作曲「こうもり」	一般の方・本学学生	本学講堂
秋のおでかけ 障害を持つ子どもたちに笑顔を ~互いに学び支えあおう~	10月15日(土)	障害のある子ども達に普段経験すること のできないような動物とのふれあいや物 づくり、食づくりなどを体験する秋の自然 に触れるお出かけを実施する	障害のある子どもと その保護者	神戸市立 六甲山牧場
ESD実践勉強会 ~古都からみらいへ~	通年	学生が自ら主体となって企画・運営を行 い、ESDを体験的、実践的に学ぶ勉強会を 開催する	本学学生	本学、奈良県及び 京都府、野外活動セ ンター

「 教育研究に係る連携協定 Education and Research Agreements

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

協定先	締結年月日	主な目的等
奈良県	平成 21年12月 10日	「地域の教育力」を再生する方策に関する調査・研究
奈良県くらし創造部	平成 21年10月 5日	「地域の教育力」モデル地域調査事業
水及米マラン制造品		実践総合センターと県立教育研究所との、いじめ、不登校問題等教育諸課題への取組に係る連携
奈良県教育委員会	 平成 15年 6月 17日	教育連携に係る包括協定
示成未获自安莫五	 平成 16年 3月 17日	県立青翔高校との実践的共同研究と県理数科教育の充実、科学者、技術者の養成
奈良県立平城高等学校	 平成 19年 1月 18日	教育連携協定
奈良県立高田高等学校	平成 23年 4月 6日	教育連携協定
奈良県立山辺高等学校	 平成 26年 4月 1日	理数プロジェクト高大地域連携事業に関する協定
奈良県立青翔中学校・高等学校	 平成 26年 4月 1日	理数プロジェクト中高大地域連携事業に関する協定
京都大原学院(小中一貫校)		教育連携協定
		教育連携に係る包括協定
奈良市	 平成 19年 6月 19日	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
	<u> 成 19年 0月 19日</u> 平成 16年 6月 11日	→ 34歳(ハールビーボー)と相互の教育支援・充実 幼稚園・小学校・中学校への学校教育活動支援事業(スクールサポート)と相互の教育支援・充実
奈良市教育委員会	<u></u>	が推園・小子校・中子校、の子校教育活動文援事業(スノール・ケルード)と相互の教育文援・ルス 「先導理数プログラム」推進事業
小区川我月安良云	<u>- 平成 18年 7月 18日</u> 平成 18年 9月 20日	 ・元等理致ノロケノム」推進事業 包括協定事項追加(教員養成 GP「鍵的場面」)
	<u></u>	学科指導教室「ASU」への学生(学習チューター)派遣と相互の教育支援・拡充
大和郡山市	<u></u>	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
	 平成 24年 4月 1日	教職大手がにおりる天成のカフィュノム寺の天地協力
	<u> </u>	教育建設に応るされかに
生駒市	<u></u>	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
生啊!! 曽爾村	<u>- 平成 19年 0月 11日</u> 平成 24年 4月 1日	教職人子院におりる美成的ガリアキュラム等の美施励力 教育連携に係る包括協定
	<u> 元</u> 平成 26年 9月 25日	2 括連携協力に関する協定
1.01.2	1.1.1 . 1 . 1 . 1 . 1 . 1	
山添村	平成 28年 1月 18日	包括連携協力に関する協定
奈良工業高等専門学校 	平成 20年 6月 18日	教育研究等の協力協定
奈良女子大学	平成 27年 3月 26日	教員養成の高度化に関する連携協定
帝塚山大学	平成 27年 3月 26日	教員養成の高度化に関する連携協定
天理大学	平成 27年 3月 26日	教員養成の高度化に関する連携協定
奈良大学	平成 27年 3月 26日	教員養成の高度化に関する連携協定
京都府教育委員会	平成 17年 4月 1日	小中学校への学生派遣による支援、学生の資質向上と実践的指導力の育成
	平成 19年 8月 13日	教員を目指す学生等の資質向上と実践的指導力の育成
京都市教育委員会	平成 17年12月 28日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
···································	平成 25年 7月 1日	連携協力に関する協定
陸前高田市教育委員会	平成 27年12月 16日	連携協力に関する協定
茨木市教育委員会	平成 18年 4月 1日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
八尾市教育委員会	平成 18年 4月 1日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
柏原市教育委員会	平成 18年 6月 1日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
千早赤阪村教育委員会	平成 18年 6月 1日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
堺市教育委員会	平成 20年 5月 28日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
羽曳野市教育委員会	平成 20年 5月 28日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
東大阪市教育委員会	平成 21年 5月 27日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
交野市教育委員会	平成 21年 5月 27日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
神戸市教育委員会	平成 22年 4月 1日	「スクールサポーター制度」実施に係る協定
高エネルギー加速器研究機構	平成 24年 6月 6日	教育研究等の協力協定
奈良市、(株)リクルートホールディングス	平成 27年 8月 31日	奈良市立高等学校を対象とした教育改革施策の企画、実行に関する協定



協定先	協定締結年月日	主な目的等
放送大学	平成 14年 3月 13日	学部単位互換
帝塚山大学、天理大学、奈良大学、奈良県立大学 奈良県立医科大学、奈良学園大学、奈良女子大学	平成 20年 3月10日	奈良県内大学間での学部単位互換
京都教育大学、大阪教育大学	平成 25年 3月21日	京阪奈三教育大学学部単位互換
奈良女子大学	平成 7年12月25日	大学院単位互換
滋賀大学、京都教育大学、大阪教育大学、和歌山大学	平成 8年 1月30日	大学院単位互換



平成24年度後期より、京都教育大学・大阪教育大学と連携して、 テレビ会議システム及びタブレットPC等のICT設備を活用した双方向遠隔授業を実施しています。 http://jisedai.nara-edu.ac.jp/open/netcommons/htdocs/



地域連携 Local Collaboration

■ 平成28年度学校図書館司書教諭講習

この講習は、学校図書館法(昭和28年法律第185号)第5条第3項の規定に基づき、 学校図書館の専門的職務に携わる司書教諭を育成するため、文部科学大臣の委託を受けて実施する講習です。

【実施日程】 8月1日~8日、8月17日~28日 詳細はホームページをご覧ください。 http://www.nara-edu.ac.jp/students/books.html

■ 平成28年度教員免許状更新講習

平成19年6月に教育職員免許法が改正され、平成21年度から教員免許更新制が導入されました。 本学では、奈良県内の大学・短期大学・その他の機関と連携して、教員のニーズに応じた多様な講習を実施します。

【実施日程】 6月25日~26日、7月25日~26日、8月4日、8月6日~9日、8月17日、8月19日~21日、8月23日~26日、 10月22日、10月29日~30日 詳細はホームページをご覧ください。 http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/license.html

平成28年度奈良教育大学教育職員免許法認定講習

この講習は、文部科学省の「特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業」の委託を受けて実施する講習です。 特別支援学校並びに小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校の教員を対象に、 特別支援学校の教育職員免許状を取得するために必要な単位を修得させ、併せてその資質の保持と向上を図るものです。

【実施日程】 未定 詳細はホームページをご覧下さい。 http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/nintei_koushu.html





to	64	うま	Narayama
· o	· ノ ヽ		

本学の教育実践、研究内容、学生の活動状 況等を受験生やその保護者等に紹介する ための広報誌

This bulletin provides information to students preparing for enrollment exams, their parents and guardians, and other interested parties, about information such as our university's educational practices, research, and student activities

- 天平雲 Tenpyougumo 学生に対する広報誌 Publicity to our students.
- 受験生のための大学案内 Campus Guide to those applicants for our university
- 奈良教育大学概要 Nara University of Education Campus Guide
- 奈良教育大学紀要 Bulletin of Nara University of Education
- 保健センターだより Center Report for HealthCare

7 奨学寄附金受入状況 Scholarship Donations Received

					(千円) unit: thousand yen
区 分 Classification	平成27年度 Fiscal Year 2015	平成26年度 Fiscal Year 2014	平成25年度 Fiscal Year 2013	平成24年度 Fiscal Year 2012	平成23年度 Fiscal Year 2011
受入件数 Number of Acceptance	22	18	24	22	28
受入額 Received Amount of Money	33,074	21,998	23,300	20,577	21,177

科学研究費補助金採択状況

Application For Grant-in-Aid for Scientific Research

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

Acceptance of	Application For	Orant III /	ild for bere		aren					(千円) unit	: thousand ye
研究種	E	平成2 Fiscal Ye			7年度 ear 2015	平成2 Fiscal Ye		平成2 Fiscal Ye			
机 九 但 Classificatio		採択件数 Number of Acceptance	金額 Amount of Money	平成24 Fiscal Yee 採択件教 Number of Acceptance 3 3 25 9 9	金額 Amount of Money						
特定領域研 Grant-in-Aid for Scientific Rese		1	16,400 (4,920)								
基盤研究(Grant-in-Aid for Scientifi		1	10,900 (3,270)	1	11,600 (3,480)						
基盤研究(Grant-in-Aid for Scientifi		3	12,400 (3,720)	3	10,100 (3,030)	3	3,200 (960)	4	14,500 (4,350)	3	11,000 (3,300)
基盤研究(Grant-in-Aid for Scientifi		34	36,900 (11,070)	30	29,800 (8,940)	30	32,700 (9,810)	24	24,600 (7,380)	25	23,700 (7,110)
挑戦的萌芽 Grant-in-Aid for challenging E		1	800 (240)								
若手研究(Grant-in-Aid for Young		11	7,600 (2,280)	9	6,500 (1,950)	10	8,100 (2,430)	13	9,400 (2,820)	9	8,800 (2,640)
特別研究促 Grant-in-Aid for Spec											
研究活動スター Grant-in-Aid for Research				1	1,000 (300)	1	1,000 (300)				
研究成果公開促進費	学術図書 Scientific Library										
Grant-in-Aid for Publication Scientific Research Results	データベース Database										
≣† Total		51	85,000 (25,500)	44	59,000 (17,700)	44	45,000 (13,500)	41	48,500 (14,550)	37	43,500 (13,050)

機能強化経費採択状況 Acceptance of Functional Enhancement Fund

文部科学省は、第 3 期中期目標期間(平成 28 ~ 33 年度)において、国立大学の機能強化の方向性に応じた 3 つの枠組み(本学は「①地域貢献」を選択)に より重点支援を行うこととされた。(27 年度までの「特別経費」の枠組みは「機能強化経費」に変更となり、各法人が策定した戦略毎に支援する。)

	区分		採択年度	事業(計画)期間				
	プロジェクト	教育委員会	教育委員会・学校・地域との組織的連携・協働により、教員養成・研修機能を強化する。 平成 2					
機能		平成 28 年度	6年					
機能強化促進分	プロジェクト		ESDを核とした教員養成の高度化		(2年)※			
			地域融合で築く理数教育研究拠点における実践的高度教員養成プログラムの開発		(2年)※			
			学校教育体系全体を視野に入れたインクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮・ ユニバーサルデザイン教育の開発		(6 年)※			

※()内は、取組予定期間 The figure in parentheses Indicates Scheduled Period of Actions

特別教育研究経費採択状況 Acceptance of Special Education and Research Funds

区分	事業名称	採択年度	事業(計画)期間
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	ESDを核とした教員養成の高度化	平成 27 年度	1年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	地域融合で築く理数教育研究拠点における実践的高度教員養成プログラムの開発	平成 26 年度	4年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	地域連携に基づく特別支援教育人材養成モデル推進事業 — ICT 活用による人財と教材のネットワークの構築	平成 25 年度	3年
幅広い職業人の養成や 教養教育機能の充実	「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成に向けた持続可能な発展のための 教育活性化プロジェクト	平成 25 年度	1年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	京阪奈三教育大学教育連携推進事業 — 遠隔授業を取り入れた教育課程の共同実施の構築に向けて —	平成 24 年度	3年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	教員養成機能の充実	平成 24 年度	1年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	実践的高度理数科教員養成のための大学院教育プログラムの開発	平成 23 年度	3年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	先端的な教職科目体系のモデル開発 ~カリキュラム・フレームワーク(Cuffet)の構造的深化・高度化による学びの組織化~	平成 22 年度	3年
地域貢献機能の充実	地域全体でライフサイクルのニーズに応じる特別支援教育モデル推進事業 ~教育委員会等との連携による大学のセンター機能の強化と人材育成~	平成 22 年度	3年



(百万円) unit : million yen

収 入 Income	
事 項 Items	金額 Amount of Money
運営費交付金 Subsidy of Administrative Cost	2,437
大学改革支援·学位授与機構施設費交付金 Bonus for University Reform and Facility Expenses of National Institutions for Academic Degrees	16
自己収入 University Income	
授業料及入学金検定料収入 Tuition and Examination Fee	761
雑収入 Miscellaneous Income	51
施設整備費補助金 Supplies and Equipment Expense Subsidy	42
産学連携等研究収入及び寄付金収入等 Support for Cooperative Research with Private Industry	44
計 Total	3,351

支 出 Disbursement	
事 項 Items	金 額 Amount of Money
人件費 Personnel Expenses	2,606
物件費 Non-Personnel Expenses	643
施設整備費 Supplies and Equipment Expenses	58
産学連携等研究経費及び寄付金事業費等 Support for Cooperative Research with Private Industry	44
≣† Total	3,351

A 土地・建物 Land and Buildings

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

		(m)
区 分 Classification	土 地 Land	建 物 Buildings
本部及び教育学部 Headquarters and Faculty of Education	147,060	34,236
附属中学校 University Attached Junior High School	30,079	5,787
附属小学校 University Attached Elementary School	本部及び教育学部に含む Included in Headquarters and Faculty of Education	8,880 (特別支援学級 1,574 ㎡を含む) Including 1,574 ㎡ for the Classes for Handicapped Children
附属幼稚園 University Attached Kindergarten	本部及び教育学部に含む Included in Headquarters and Faculty of Education	1,013
自然環境教育センター Center for Natural Environment Education	1,768,633	1,175
奈良実習園 University Farm in Nara	11,034	563
奥吉野実習林 University Forest in Okuyoshino	1,757,599	612
国際学生宿舎 International Student House	4,621	2,326
橘宿舎 TACHIBANA Dormitory	2,013	1,686
教職員宿舎 Housing for staff	7,705	4,126
言十 Total	1,960,111	59,229



た設の整備状況 Upkeep of Facilities

年度	完成年月	建物名称	構造階数	延べ床面積等	備考
	平成28年 3月	特別支援学級体育室	S 1	148 m ^²	新営
平成27年度	平成28年 3月	情報館	R 3	414 m	空調設備·内装改修
	平成28年 3月	美技棟演習室	R 1	48 m	内装改修
	平成27年 3月	附属中学校体育館	R S 2	1,248 m	非構造部材耐震補強
	平成27年 3月	附属幼稚園A棟	R 1	246 m [*]	空調設備改修
	平成27年 3月	附属幼稚園B棟	R 1	152 m	空調設備改修
	平成27年 3月	附属幼稚園C棟	R 1	238 m	空調設備改修
	平成27年 3月	附属幼稚園D棟	R 1	247 m [*]	空調設備改修
平成26年度	平成27年 2月	講堂	R 2 – 1	1,278 m	非構造部材耐震補強
干成20平反	平成27年 2月	学生会館(山田ホール)	R 2	414 m ²	非構造部材耐震補強
	平成27年 2月	体育館	S 1	1,028 m [*]	非構造部材耐震補強
	平成27年 2月	附属小学校体育館	R S 2	989 m [*]	非構造部材耐震補強
	平成27年 2月	舞踊室	S 1	329 m [*]	非構造部材耐震補強
	平成27年 2月	武道場	S 1	401 m [*]	非構造部材耐震補強
	平成26年 9月	本部管理棟1階(学生支援課等)	R 2	2,215 m	内装改修
平成25年度	平成26年 3月	図書館(ラーニング・コモンズ等)	R 3	999 m [*]	内部改修·増築



附置センターの学部・大学院教育へのサポート体制をより強化するとともに、地域と連携した活動を進展させるため、それぞれのセン ターの機能を調整し、センター全体として連携して大学教育をサポートしています。

In order to strengthen the support provided by affiliated centers to undergraduate and graduate education, and promote collaborative activities with the local community, we coordinate the functions of the various centers, and support university education through a team effort by all of our centers.



目 的 Purpose

教育・研究のため、図書・ 雑誌を揃え、学生及び教職 員のほか、地域の方へも貸 出しています。また、文献 検索及び文献所在調査等に より、調査・研究の援助を 行っています。

教員志望の学生が実践的教

育力や指導・課題探求の向上を図るため、多様な学修活動に対応し た「学修空間」として「ラーニング・コモンズ」や「グループ学習室」、 「えほんのひろば」を設置しています。

Library offers books, learned books and references for education and research. It helps students and faculty by providing information retrieval services for research and academic study. Citizens can utilize the library resources and they are welcome to use library books and sources for research

To improve the practical education and instruction skills, and ability to identify issues, of students who hope to become teachers, we provide a Learning Commons, Group Study Room, and Ehon-no-Hiroba (picture book library) as learning spaces suitable for a variety of study activities.

蔵書数 Number of Books



閲覧室、ラーニング・コモンズ、 グループ学習室、AV 室、情報 サテライト室、えほんのひろば、 書庫、リフレッシュスペース Reading Room, Learning Commons, Group Study Room, Audio-Visual Room, Information Satellite Room, Ehon-no-Hiroba. Personal Stack, Refreshment Space



えほんのひろは

<u>主な貴重書</u> Main Valuable Literature

永井家文書 21 巻 17 世紀 Nagai Family's Ancient Documents 21 volumes (the 17th Century) 興福寺南院文書 53 綴、17 枚(1533 ~ 1862 年) Kofukuji Temple South Hall's Ancient Documents 53 files of papers, 17sheets (the period from 1533 to 1862)

奈良晒 関係文書 77 綴(1783~1882年) Ancient Documents Related to Nara-Sarashi or Bleached Cloth 77 files of papers (the period from 1783 to 1882)

平成 28 年 3 月 31 日現在 As of Mar 31, 2016

		図 書 Books		雑 誌 Journals			
区 分 Classification	和書(冊) Japanese books _(number)	洋書(冊) Foreign books (number)	計 (冊) Total (number)	和書(種) Japanese Books (serials)	洋書(種) Foreign Books (serials)	計(種) Total (serials)	
蔵書数 Number of Books	284,935	45,927	330,862	5,191	838	6,029	
平成 27 年度受入数 Acquisitions 2015	5,026	555	5,581	758	61	819	

図書館利用状況 Library Use

学 生 Students		教職員 Staff		学外者	Z Others	合 計 Total		
貸出者数 Number of Borrowers	貸出冊数 ^{Number} of books Borrowers	貸出者数 Number of Borrowers	貸出冊数 Number of books Borrowers	貸出者数 Number of Borrowers	貸出冊数 Number of books Borrowers	貸出者数 Number of Borrowers	貸出冊数 Number of books Borrowers	
8,293	19,080	1,090	2,678	794	2,913	10,177	24,671	

教音資料館

Museum for Historical Materials of Education



我が国の学制発足以降にお ける奈良県下の初等中等教 育に関する資料を中心とし て、教育関係資料の収集及 び展示が行われています。 また、教職員及び学生によ る特別展や企画展も開催し ています。



This center collects and displays historical materials of education. The materials herein preserved are mainly those on primary and secondary education in Nara Prefecture since the enforcement of the first educational system in this country. The museum also plays host to special and regular exhibitions by teaching professionals and students.



Main Facilities

展示室(第1.2.3室)、貴重品等収蔵庫、 受入整理収蔵倉庫 Exhibition rooms(No.1, No.2 and No.3), safes

for valuables, document file storage room

建物面積 **Building Space**

346 m^{*}



奈良県下初等教育関係資料 Information and Materials of Elementary Education in Nara Prefecture

本学学校史に関する資料 Information and Materials concerning the History of Nara University of Education 関係教員の美術工芸作品その他 Art Works and Others



平成 27 年度 2015





Teacher Education Center for the Euture Generation

目的 Purpose

本センターは、教員養成の高度化と質保証を目的とする京阪奈三教育大学連携推進事業の一環で設置された「連 携拠点」の一つとして、平成 25 年 7 月 1 日に設置されました。ICT 活用を含む実践的教育力・指導力の向上、 課題探究力の向上を図るとともに、学び続ける教員の質保証に関わる事業及び研究開発を行うことにより、21 世紀社会を牽引する人材である次世代の教育を担う教員の養成に寄与することを目的としています。センター は、「情報教育部門」「ESD・課題探究教育部門」「情報基盤部門」の3部門で構成されています。

This Center was established on July 1, 2013 as a collaborative base under the Project for Promoting Collaboration of the Three Universities of Education in Kyoto, Osaka and Nara whose purpose is to raise the level of teacher education and ensure its quality. The Center's aim is to contribute to the development of teachers who will provide the next generation of education and lead society in the 21st century. This will be achieved by improving practical education and instruction capabilities, including the use of ICT, strengthening the ability to identify issues, and carrying out projects and R&D to improve the quality of teachers as they continue their education. The Center is comprised of three divisions: an Information Education Division, an ESD and Issue Identification Education Division, and an Information Infrastructure Division.



情報教育部門 Information Education Division

目的 Purpose

情報教育を推進することを目的として、教員の ICT 活用能力、ICT を活用した授業力の育成・向上、ICT 支援員の養成と認証、教員の 情報教育研修、デジタル教材の開発及び運用支援、双方向遠隔授業の企画・運用等を実施しています。

In order to promote information education, this Division carries out activities such as developing and improving the ability of teachers to use ICT in administrative work and classroom teaching, developing and certifying ICT support staff, information education training for teachers, support for development and use of digital instructional materials, and planning and use of interactive remote classes.

ESD · 課題探究教育部門 ESD and Issue Identification Education Division

目的 Purpose

「教員養成カリキュラム開発領域」「ESD・教材開発領域」「学校・地域教育支援領域」「教育臨床・学校カウンセリング領域」の4つの 領域を設け、「学び続ける教員」を育むための学校現場と連携した教員養成モデルの開発と、課題探究を推進する実践的指導力育成プ ログラムを実施しています。

This Division is comprised of four areas: a Teacher Education Curriculum Development Area, ESD and Instructional Material Development Area, School and Community Education Support Area, and Clinical Practice in Education and School Counseling Area. The Division develops teacher education models linked with actual school classrooms in order to cultivate teachers who continue to learn, and provides programs for developing practical instruction capabilities to promote issue identification.

情報基盤部門 Information Infrastructure Division

目的 Purpose

学内共同教育施設として情報館を運営し、本学の情報処理についての教育・研究の中心的役割を担っています。また、学内 LAN の管理・ 運営を行い、学内7カ所に約240台の共同利用パソコンを設置、3階実習室をアクティブラーニングスペースとして開放するなど、教育・ 研究のための共同利用の場を提供しています。

This Division operates the Information Processing Facilities (IPF) as shared educational resources of the university, and plays a central role in education and research relating to information processing at this university. It also manages and operates the university's LAN, has 240 computers for common use installed at 7 locations on campus, opens up the third-floor Practice Room as the Activity Learning Space, and otherwise provides spaces for shared use of computers for education and research.

次世代教員養成センターの主要施設

Main Facilities of the Teacher Education Center for the Future Generation

■ 1号館

Teacher Education Center for the Future Generation 1

主要施設

Main Facilities

大会議室兼教室 Large Meeting Room, Classroom





テレビ会議装置、電子黒板、高速カラー印刷機 Teleconferencing system, electronic blackboard, high-speed color printer



Teacher Education Center for the Future Generation 2

主要施設 Main Facilities

多目的ホール、モデル教室、カウンセリングルーム、サポー トルーム、会議室、資料作成室

Multipurpose Hall, Model Classroom, Counseling Room, Support Room, Meeting Room, Printing Room







主要施設

Main Facilities

中央計算機室、集中監視室、実 習室、演習室、メディアルーム Central Computer Room, Monitoring Room, Practice Room, Exercise Rooms, Media Room

主要機器 Main Equipment



- ・ドメイン/ファイルサーバ Domain/File server
- ・インターネットサーバ (DNS/Mail/WWW/VPN/VOD/E-Learning etc.) Internet Servers (DNS/Mail/WWW/VPN/VOD/E-Learning etc)
- ・ファイアウォール装置 Firewall Device
- ・メールセキュリティ装置 Mail Security System
- ・共同利用パソコン Computers for common use 情報館実習室 Windows 8.1 Pro 34 台・Windows10 Pro 58 台 Practice Room in IPF: Windows 8.1 Pro, 34 units; Windows 10 Pro, 58 units 情報館演習室 A Windows 8.1 Pro 33 台 Study Room A in IPF, Windows 8.1 Pro, 33 units 情報館演習室 B Windows 8.1 Pro 25 台 Study Room B in IPF, Windows 8.1 Pro, 25 units メディアルーム Windows 8.1 Pro 10 台 Media Room in IPF, Windows 8.1 Pro, 10 units
- ・プリンターステーション Printer Station





文化多様性教育に関わる実践的、理論的研究を学際的に行い、国 際的視野を備えた教員の養成に寄与するとともに、国際交流協定 大学などとの交流・連携に関わることで、派遣・受入留学生を支 援し教員養成大学としての国際交流を推進することを目的として います。

This Center conducts interdisciplinary research, both practical and theoretical, relating to cultural diversity education, and thereby contributes to the development of teachers with international perspectives. It also aims to promote international exchange, as a part of a teacher's college supporting exchange students studying both overseas and in Japan, by staying involved in exchanges and cooperation with universities which we have international exchange agreements with.



3Dプリンター室(技術棟内)

主要機器 Main Equipment

(フルカラー石膏造形機種)1台

3D Printer (resin forming model),

非接触3Dスキャナ 1台

Non-contact 3D scanner, 1 unit

3D Printer (full color plaster molding

3Dプリンター

model), 1 unit 3Dプリンター

1 unit

(樹脂造形機種)1台

主要施設 Main Facilities

国際交流オフィス、国際交流室(留学生と日本人学生との交 流スペース)

International Exchange Office, International Exchange Room (space for interaction between foreign and Japanese students)



目的 Purpose

学生・児童・生徒及び地域住民に、授業、公開講座並びに自然 教室などの事業を通して自然環境教育を行うとともに、それら に関する基礎的研究を行っています。

奈良実習園 University Farm in Nara



Total Land Space 11.034 m²



主要施設 Main Facilities

講義室、資料室、加工室、作業室、農機具庫、温室 1 棟 Lecture Room, Material Room, Manufacturing Room, Working Room, Farm Implements Room, Green House

The aim of the Center is to carry out basic research and educate the students, children and members of the general public in matters pertaining to our natural environment.





主要施設 Main Facilities

教育研究棟(講義室、標本室、研修室、工作室) Education-Research Building (Lecture Room, Specimen Room, Study Room, Working Room) 宿泊棟(収容人数 34人)

Accommodation Building (Capacity; about 34)





目的 Purpose

特別支援教育に関わる理論と実践に関する教育研究を総合的 に行い、特別支援教育を担う人材の育成、地域における児童 生徒等の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進していま す。センターには、児童精神科医、特別支援教育士 SV、臨床 心理士、臨床発達心理士、作業療法士などを配属しています。 The Center is comprehensively researching the theories and practices of special needs education, fostering human resources responsible for special needs education, and promoting special needs education in response to the educational needs of children in local communities. The Center staff includes a child psychiatrist, special educational needs specialist supervisor (S.E.N.S.-SV), clinical psychologist, clinical developmental psychologist, and occupational therapist.

教育実践支援部門(教育関係者向け)

Teaching Practice Support Division(for educators)

教育相談を地元の教育委員会との連携を図りながら、実施しています。 The Center is accepting educators for education counseling in tie-ups with local school boards.

発達支援部門(本人・保護者向け)

Development Support Division(for children and their parents) 発達相談、心理発達検査、コンサルテーション、親子並行面接、巡回 専門相談を有料で実施しています。発達障害がある子どもや親に対し ての専門プログラムも実施しています。

The Center is accepting children and their parents for paid-development counseling, psychological development tests, consultation, parent-child parallel counseling and special consultation by circuit professionals. The Center provides specialized programs for children with neurodevelopmental disorders and their parents.



研修関連 Lectures

一般向けの公開講座に加えて、指導者を養成するための講座や特別支援教 育に関する研修会を催しています。

In addition to lecture series for the general public, the Center offers courses to develop instructors, and special needs education training seminars.



多目的室(研修や PT、SST などを行います)、模擬授業教室、相談室、 資料室、事務室(憩いルーム)

Multipurpose room (for training, PT, SST, etc.), simulated classrooms, consultation rooms, reference room and office (resting room)



Center for Educational Research of Science and Mathematics

目的 Purpose

現代的教育課題である「理数離れ」に対応し、21世紀の新世代 の人材育成に必要な新しい理数教育システムの構築に地域や現場 と一体となって取り組んでいます。本センターは、ICT(情報通 信技術: Information and Communication Technology) 支援 教育開発、地域連携等を行う「教育プログラム推進部門」、学内に 各種実験機材を配備したオープン・サイエンス・ラボの運営等を 行う「先端科学教育部門」等からなり、理数教育プログラムの開発、 SST(スーパーサイエンスティーチャー)養成、公教育の支援の ほか、理工系学部との連携や国際協力等の事業を展開しています。 The Center is making efforts to deal with the trend away from "Science and Mathematics," which is a task of modern education, and is grappling with the construction of a new scientific and mathematics education system necessary for fostering of new generation of human resources for the 21st century in cooperation with the regional community and other fields of education. The Center consists of the Educational Program Promotion Division that is engaged in the development of education for supporting ICT (Information and Communication Technology) and regional alliances, and the Advanced Science Education Division that manages the open science laboratory

and various experimental equipment, and is developing programs for partnership with science and technological faculties and international cooperation in addition to the development of science and mathematics educational programs, training of SST (Super Science Teacher) and support for public education.







主要施設 Main Facilities

オープン・サイエンス・ラボ、ICT 理数科教育開発室 Open science laboratory, ICT science and mathematics education development room

主要機器 Main Equipment

デジタル分光計、マイケルソン干渉計、光速度測定実験装置、 万有引力実験器、電子ビーム偏向管実験装置、静電現象実 験装置、電磁現象実験器、力学滑走台、カー効果実験装置、 ファラデー効果実験装置、ホログラフィー実験装置、3D 教材開発機材

Digital spectrometer, Michelson interferometer, light-speed measurement system, universal gravitation test system, electron beam deflection tube. electrostatic phenomenon test system, electromagnetic phenomenon test system, dynamical glide stand, Kerr effect test system, Faraday effect test system, holography test system, 3D educational material development system





主要施設 Main Facilities

診察室、静養室、処置検査室、相談室 Doctor's office, Temporary Rest Place, Treatment and Examination Room, Counseling Room

建物面積 Building Space

218 m²



健康増進のための指導・助言を行うとともに、性格、家庭、対人関 係等広く相談に応じるため、専門のカウンセラーを配属しています。 We are providing instructions on students medical problems. Student can consult with our counselor about their personal problem their campus lives as well as in their family and social lives.



超音波診断装置、解析機能付心電計

Supersonic Waves Diagnosis Apparatus, Electrocardiograph with Analyzing Function

心肺蘇生法訓練人形 Training Doll for Cardio-Pulmonary Resuscitation (CPR) 自動体外式除細動器(AED) Automated External Defibrillator (AED)



AFD ポンプ機能を失った状態になった心 臓に対して、電気ショックを与え、 正常なリズムに戻すための医療機器



福利厚生施設 Student Welfare and Health Facilities









運動場 Ground	20,044 m	400m トラック、野球、サッカー、ラグビー 400m Track, Baseball, Soccer, Rugby		
体育館 Gymnasium 1,028 ㎡		バスケットボール、バレーボール、バドミントン Basketball, Volleyball, Badminton		
弓道場 Japanese Archery Field	85 m	弓道 5 人立 Japanese Archery 5 Persons		
武道場 Arts Gymnasium for Martial 401		柔道場、剣道場 Judo Field, Kendo Field		
テニスコート Tennis Court	5,110 m	7 面 7 Courts		
水泳プール Swimming Pool	2,419 m	8コース 50m 8 Courses 50m		



学生の課外活動等、学生生活をより充実 するために活用されています。 The hall is used for students' activities for their





集会室、和室、談話室、同窓会室、 山田ホール

Meeting Room, Japanese-style Resting-Room, Common Room, Alumni Association Office, Yamada Hall



Building Space









本学学生の課外活動を促進し、豊かな人間形成に資することを目的として使 用されています。

Facilities for promoting extra-curricular activities to help enrich our students as rounded human beings.





主要施設 Main Facilities

会議室、多目的スペース、資料作成室、文化会室、体育会室、倉庫 Meeting Room, Free Space, Printing Room, Room for Cultural Clubs, Room for Athletic Clubs, Warehouses



学生及び教職員のための福利施設として食堂・売店・書店等があり学生生活の 便宜を図っています。また、学生会館の談話室や食堂ホール横のアゴラ(広場) は、食事をしたり仲間同士で語り合う学生達の憩いの場となっています。

The welfare facilities such as a cafeteria, a stationary shop and a bookstore are available to the students, the teaching staff, and the officers. In addition, the lounge in the student hall and the public square called 'Agora'are utilized for the students' recreation and personal communication.





国際学生宿舎	100 室		鉄筋コンクリート 2 階建
International Student House	100 rooms		Reinforced concrete two-story
橘宿舎	64 室	収容人数 64 人	鉄筋コンクリート 3 階建
TACHIBANA Dormitory	64 rooms	Max. 64 Students	Reinforced concrete three-story









Purpose

式典、学会、講演会、研究発表会、公開講座、演奏会に利用するなど、広い 分野で活用されています。

Our auditorium is used for some ceremonies, conferences, special lectures, open classes for citizens, musical performances and so on.





目的 Purpose

本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究、並びに教育実習計画に従い学生の教育実習を実施するため、附属中学 校、附属小学校及び附属幼稚園を設置しています。

■ 生徒・児童数 Fixed Number and Current Enrollment Number

平成 28 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2016

		総定員 学級数		児童・生徒数 Number of Pupils						
区分 Classification	Total Num	学級数 Number of Classes	】学年 1st. Grade	2学年 2nd. Grade	3学年 ^{3rd. Grade}	4学年 4th. Grade	5 学年 5th. Grade	6 学年 6th. Grade	≣† Total	
附属中学校 University Attached Junior High School	480	12	155	155	155				465	
特別支援学級 Special Support Class	24	3	6	5	6				17	
附属小学校 University Attached Elementary School	550	18	88	90	84	88	86	99	535	
特別支援学級 Special Support Class	24	3		4		6		4	14	

			学級数 Number of Classes	園児数 Number of children				
区分 Classification	総定員 Total Capacity	年齢 Age		3歳児 ^{3year-old}	4歳児 _{4year-old}	5 歳児 ^{5year-old}	≣† Total	
	3歳児 3year-old 144 4歳児 4year-old		1	24				
附属幼稚園 University Attached Kindergarten			2		54		135	
	5歲児 _{5year-old}		2			57		







附属中学校 University Attached Junior High School



附属幼稚園 University Attached Kindergarten



■ 教育学部・附属小学校・附属幼稚園

Faculty of Education, University Attached Elementary School, University Attached Kindergarten



建物情報 奈良教育大学·附属小学校·附属幼稚園





Ъ

Ъ

Kibiduka Tomb

学内北側に位置する吉備塚古墳は、 6世紀初頭頃築造されたと考えられ、 古くから吉備真備の墓として伝承さ れてきた。近年、数回に渡る調査が 行われ、多くの鉄製品など遺物が出 土している。

新薬師寺旧境内遺跡 The remains of Shin-Yakushiji Temple



学内北東隅に位置する新薬師寺旧境 内遺跡は、平成 20 年に行われた校舎 改築に伴う調査で、8世紀中ごろの奈 良時代に建立された新薬師寺旧境内 の金堂跡と見られている。

ե

Ъ

■ 附属中学校

University Attached Junior High School



十津川村 Totsukawa-mura Village





部局等 Administration Offices		電話 Telephone		所在地 Location
事務局 Administration Bureau	教務課 Educational Affairs Section	0742-27-9124 FAX 27-9145		
	入 試 課 Entrance Examination Section	0742-27-9126 FAX 27-9145		
	学生支援課 Student Affairs Section	0742-27-9128 FAX 27-9146		
	教育研究支援課 Educational and Academic Support Section	0742-27-9369 FAX 27-9147		
	企画連携課 Planning and Partnership Section	0742-27-9570 FAX 27-9141		
	総務課 General Affairs Section	0742-27-9105 FAX 27-9141		
	財務課 Financial Affairs Section	0742-27-9112 FAX 27-9143		
	施設課 Facilities Planning Section	0742-27-9118 FAX 27-9144	〒630-8528	奈良市高畑町 Takabatake-cho, Nara City
図書館 University Library	図 書 館 University Library	0742-27-9137 FAX 27-9147		
	教育資料館 Museum for Historical Materials of Education	0742-27-9297 FAX 27-9147		
次世代教員養成センター Teacher Education Center for the Future Generation	2 号 館 Teacher Education Center for the Future Generation 2	0742-27-9288 FAX 27-9288		
	情 報 館 Information Processing Facilities	0742-27-9703 FAX 27-9291		
特別支援教育研究センター Center for Special Needs Education		0742-27-9314 FAX 27-9314		
国際交流留学センター Center for Intercultural Exchange and Studies		0742-27-9177 FAX 27-9177		
理数教育研究センター Center for Educational Research of Science and Mathematics		0742-27-9333 FAX 27-9333		
自然環境教育センター Center for Natural Environment Education	奈良実習園 University Farm in Nara	0742-26-1404	〒630-8302	奈良市白毫寺町 Byakugouji-cho, Nara City
	奥吉野実習林 University Forest in Okuyoshino	0747-36-0456	〒637-0406	五條市大塔町赤谷 Akatani Oto-cho, Gojyo City
保健センター Health Care Center		0742-27-9138 FAX 27-9280	〒630-8528	奈良市高畑町 Takabatake-cho, Nara City
附属中学校 University Attached Junior High School		0742-26-1410 FAX 26-1413	〒630-8113	奈良市法蓮町 2058-2 2058-2 Houren-cho, Nara City
附属小学校 University Attached Elementary School		0742-27-9281 FAX 27-9283	〒630-8528	奈良市高畑町 Takabatake-cho, Nara City
特別支援学級 (附属小・中) Special Support Classes(University Attached Elementary & Junior High School)		0742-27-9284 FAX 27-9285	〒630-8528	奈良市高畑町 Takabatake-cho, Nara City
附属幼稚園 University Attached Kindergarten		0742-27-9286 FAX 27-9287	〒630-8301	奈良市高畑町354 354 Takabatake-cho, Nara City
国際学生宿舎 International Student House		0742-27-4707	〒630-8301	奈良市高畑町1252 1252 Takabatake-cho, Nara City
橘宿舎 TACHIBANA Dormitory			〒630-8306	奈良市紀寺町834 ^{834 Kidera-cho, Nara City}



4月 4日(月) Apr. 4 (Mon.)	入学式 Enrolment Ceremony	
8月22日(月)~ 9月30日(金) Aug. 22 (Mon.) – Sep. 30 (Fri.)	夏季休業 Summer vacation	
11月 3日(木)~11月 6日(日) Nov. 3 (Thu.) – Nov. 6 (Sun.)	大学祭(輝甍祭) University Festival (Kibosai)	
11月18日(金) Nov. 18 (Fri.)	開学記念日 Anniversary of Establishment of University	
12月27日(火)~ 1月 3日(火) Dec. 27 (Tue.) – Jan. 3 (Tue.)	冬季休業 Winter vacation	
3月24日(金) Mar. 24 (Fri.)	卒業・修了式 Graduation Ceremony	





■ 交通案内 Access



国立大学法人 奈良教育大学概要 The National University Corporation Nara University of Education Campus Guide 発行 平成28年7月 Issued in July 2016 編集 国立大学法人奈良教育大学 総務課 Edited by General Affairs Section 〒 630-8528 奈良市高畑町 Takabatake-cho Nara-shi TEL 0742-27-9104 http://www.nara-edu.ac.jp/ kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp

